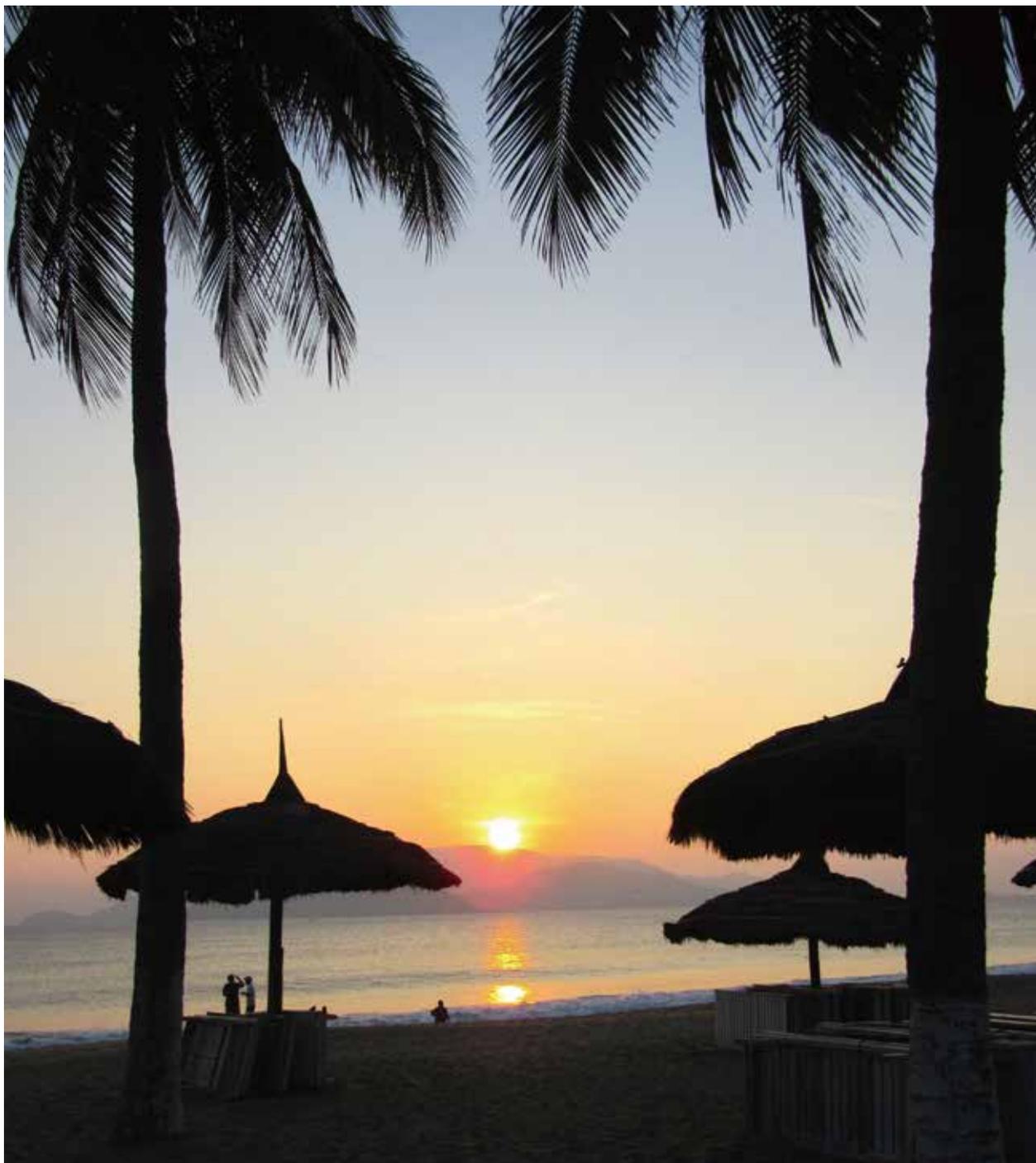


南国暮らしの会

2016年 夏・秋季号



No.1429 牛島 陸紀氏提供 ベトナム ニャチャンビーチの日の出



NPO法人 南国暮らしの会

平成28年9月7日

南国暮らしの会 (2016年夏・秋季号) 目次

平成 28 年度総会案内

(敬称略)

平成 28 年度 南国暮らしの会総会のご報告とご挨拶	No. 434	大野 悦子	1
平成 28 年度 通常総会議事録			2
平成 28 年度 役員会・支部長会議事録			5
平成 28 年度 役員・業務分担表			8
平成 28 年度 委員会の構成表			9
アフターロングステイ委員会設立のお知らせ	No. 163	宮寄 哲郎	10

会員からの投稿 I

熊本地震・私たちの体験	No. 581	朝永 清寿	12
私のチェンマイ滞在記	No. 1476	野田 文藏	15
ペナンでの单身 LS 生活	No. 1630	菅野 純	18
好きです！マレーシア	No. 877	梶野 祥司	20
初めてのハワイロングステイ	No. 1769	山本源次郎	23

南国写真サロン

29

会員からの投稿 II

セブでの英語研修	No. 1792	宮西 英二	31
ダバオのグルメ事情	No. 1125	佐々木一信	35
熟男熟女・絶景巡りの旅	No. 543	清水 重一	37
单身赴任型の冬季ステイを続けて 10 年	No. 1075	三上 英司	39
台湾の LS 環境と現地交流記	No. 591	神原 克收	44

支部便り

東北支部便り	No. 1027	佐藤 周司	49
関東甲信越支部便り	No. 1607	阿部 滋敏	50
東海支部便り	No. 1544	森 幸太郎	50
関西支部便り	No. 173	平山 三雄	53
九州支部便り	No. 651	穴見 保彦	55
ハワイ支部便り	No. 1439	塩川 亨	56
チェンマイ支部便り	No. 239	伊藤 寛	57
ペナン支部便り	No. 1630	菅野 純	57
ダバオ支部便り	No. 1261	藤本 晴久	58
バギオ・パンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	59

部会伝言板

総務部会	No. 996	歌田 晃一	60
経理部会	No. 1032	瀧川 清人	60
広報部会	No. 1207	宮原 正宇	60
会員部会	No. 1388	寺田 光江	61

友好団体紹介コーナー

61

南国暮らしの会 支部一覧

62

編集後記

62

平成28年度(第19期)南国暮らしの会総会のご報告とご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

この夏、会員の皆様は、いかがお過ごしでしたでしょうか？ 今年の4月14日とその翌々日の17日に震度7の地震に遭われた九州支部の熊本地区の皆様には、あらためてお見舞いを申し上げます。幸い会員の皆様には、大きな被害や怪我がなかったそうで、安堵致しております。

さて、5月28日(土)に「役員・支部長会議」を国内6支部の支部長と帰国中のセブ支部長と、役員(理事、監事)に、ご出席頂いて開催致しました。年に1回、国内支部長にお集まり頂いて、1年間の活動報告があり、穴見九州支部長から熊本地震の報告を頂き、最初にお伝えしましたように、会員の皆様には怪我もなく、大きな被害もなかつたとのご報告がありました。

各支部から見舞金の募集についてご質問があり、本部の制度(【細則】)の中の「付則」の2. 本会には、慶弔見舞制度は設けない。)をご説明し、ご理解を頂き各支部の有志で対応して頂くことになりました。また、5年前に同じく忘れられない大地震があった東北支部からは、氏家前支部長と佐藤新支部長が参加され、5年が過ぎて、漸く前向きに「海外でのロングステイ」を楽しもうという気持ちになられ、東北支部では現在9名の会員をもっと増やすように支部活動を活発化するために本部に協力の要請がありました。

その他、関西支部からは、当日と翌日に大阪で「ロングステイフェア2016 in 大阪」と題して、ロングステイ財団主催のフェアが初めて関西でも開催され、「南の会」もブースを出して、関西支部役員の方々にご協力頂き、PRに努めているとのご報告がありました。また、東海支部からは、退会される会員が多く、この冬、沖縄へロングステイに出掛けたところ、退会された会員が大勢(他の支部の方もいた)来ていたのに、驚かれたそうで、海外へ行かれなくなった世代の会員の退会防止策を練った方が良いとのご意見も頂きました。北海道支部では、「北海道新聞」で「南の会」の会員のロングステイ記事が掲載された効果で新規会員が増加したとのご報告もありました。その他の支部からも活発な活動報告があり、会の運営につきましても積極的な意見交換を行うことが出来ました。詳しくは、「役員・支部長会議事録」をご覧ください。

そして、翌日の5月29日(日)には、平成28年度の定期総会が開催され、定款の一部改正がございましたが、会員の皆様のご協力によりまして、第1号議案から第6号議案まで賛同を頂き承認されましたことに感謝申し上げますと共に、総会が終了致しましたことをご報告致します。(詳しくは、「通常総会議事録」)をご覧ください。

さらに、6月21日(火)には、NPO法人としての義務であります各種書類の提出を東京都庁と法務局に出向きまして提出し、全て受理されましたことを重ねてご報告致します。

今年度は、理事・監事の改選期にあたりまして、この総会まで理事、監事をされて下さった役員の方々にご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。また、今期、新しく加わった理事や監事の方々と、残って下さった理事の方々のご協力を頂いて、「南国暮らしの会」の活動が上手く進められますよう頑張りますのでどうぞ宜しくご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に会の益々の発展と会員の皆様及びご家族の皆様のご健康を願いまして、総会を終えてのご挨拶とさせていただきます。



特定非営利活動法人南国暮らしの会
平成28年度（第19期）通常総会議事録

1. 日 時：平成28年5月29日（日）10：00～12：00
2. 場 所：東京都品川区大崎1-11-1 南部労政会館 第5、第6会議室
3. 正会員数：436名
4. 出席者数：286名（内、総会出席者35名、書面表決者251名）
5. 審議項目
 - （1）第1号議案：平成27年度事業報告及び会計報告・監査報告について
 - （2）第2号議案：理事任期満了に伴う理事会の選任理事の信任について
 - （3）第3号議案：監事任期満了に伴う監事の選任について
 - （4）第4号議案：平成28年度事業計画（案）について
 - （5）第5号議案：平成28年度予算（案）について
 - （6）第6号議案：定款の一部改正について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

司会の歌田理事は、今総会の表決権所持会員数が436名であり、出席者35名、委任状251名であることから定款第26条により、本日の通常総会が成立することを説明し、定款第25条の規定により議長として会員No.1285の桂裕章氏（北海道支部長）を推薦し、満場一致で議長に選ばれた。

議長は開会を宣言し、まず総会における議事録を確認して頂く議事録署名人としてNo.750小松勝正氏を選任することを諮り全員異議なく承認した。

次に、審議の進め方の説明を行い、引き続き議案の審議に入った。

議案の審議

（1）第1号議案「平成27年度事業報告及び会計報告・監査報告について」

大野理事長が平成27年度事業報告（春季会報P.3～10参照）に基づき詳細な事業報告を行った。次いで肥後理事が同年度の会計収支計算書、貸借対照表（春季会報P.11～12参照）に基づき詳細な決算報告を行った。

最後に高田監事から、当会は同定款に基づき適正に運営され、収支計算書は、いずれも正確である旨の報告が監査報告書（春季会報P.13参照）に基づき行われた。

議長は質疑・応答の後、第1号議案について賛否を諮り、下記の今後の課題を実施することを条件に賛成多数で承認された。（書面表決者含む）

*（本議題に関する質問事項）

本議案の事業報告に関連して出席会員の1人から次のような質問がなされた。

「新年号の理事長の挨拶文の中で、アフターロングステイ委員会が発足したと記載されている。内容もさることながら運営について、1.活動内容が定款第3条に違反している。2.会員は支部に所属するものであるから活動は支部に任せるべきもの。アフターロングステイ委員会の位置づけに間違いがないか？」

多くの委員の中から意見、説明がなされ、委員会の運用については今後の課題とし

て理事会に持ち帰って再度検討することとなった。

その他の質問として、支部活動の補助金の削減は、支部活動に支障をきたさないかとの問いに対し、支部活動費は支部で賄い、補助金は支部活動を「補助する」という位置付けである。また会員増等で予算に余裕が出た時には、補助金額を増やす方針で、今回は一時的な処置であるとの回答があった。

(2) 第2号議案「理事任満了に伴う理事会の選任理事の信任について」

(春季会報 P.1 参照)

大野理事長より、退任理事7名、重任理事12名、新任理事5名が理事会において選任されたので信任して欲しいと要請があった。

- ①退任理事：No. 843 土井研一 No.1108 山田美弥子 No.1244 金井修二
 No.1533 森川文枝 No.1537 鈴木元恵 No.1591 肥後信彦
 No.1612 堀江健夫
- ②重任理事：No. 173 平山三雄 No. 434 大野悦子 No. 996 歌田晃一
 No.1207 宮原正宇 No.1208 澁谷幸一 No.1309 青木一義
 No.1388 寺田光江 No.1578 山本雅巳 No.1581 黒川敏彦
 No.1607 阿部滋敏 No.1640 川野俊次 No.1668 槇野昭一
- ③新任理事：No. 670 今野力男 No.1032 瀧川清人 No.1225 高橋眞治
 No.1431 兼森省治 No.1575 吉田 博

以上につき、議長は賛否を諮り、満場一致で承認され、被選者は就任を承諾した。

(書面表決者含む)

(3) 第3号議案「監事任満了に伴う監事の選任について」

大野理事長より、退任監事2名、重任監事1名、新任監事2名の選任要請があった。

- ①退任監事：No. 712 高田勝弘 No. 750 小松勝正
- ②重任監事：No.1068 山科滋雄
- ③新任監事：No.1361 木村秀男 No.1591 肥後信彦

以上につき、議長は賛否を諮り、満場一致で承認され、被選者は就任を承諾した。(書面表決者含む)

(4) 第4号議案「平成28年度事業計画(案)について」

大野理事長より、平成28年度事業計画案(春季会報 P.14 参照)に基づき詳細説明がなされた。事業方針第13項は、第1号議案の今後の課題を実施することを条件に、議長は同事業計画案についてその賛否を諮り、満場一致で承認された。(書面表決者含む)

(5) 第5号議案「平成28年度予算案について」

肥後理事より、平成28年度予算案に基づき、(春季会報 P.15 参照) 詳細説明がなされ、議長は同予算案についての賛否を諮り、満場一致で承認された。(書面表決者含む)

(6) 第6号議案「定款の一部改正について」(春季会報 P.2 参照)

歌田理事より説明があった。海外在住の会員から「総会の議案に対する表決を電磁的方法で行いたい」との要望を受けて、下記のように定款の第28条(総会での表決権等)の2を改正する

2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項については書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

議長は同議案について賛否を諮り、満場一致で承認された。(表面表決者含む)

7. 役員業務分担紹介と新任退任役員紹介

「平成28年度役員・業務分担表」に従い大野理事長より新年度の役員の業務分担割り振りの説明がなされた。最後に新任、退任の理事、監事の紹介がなされた。

副部長以上の変更

- (1) 総務部会 No. 996 歌田部会長、No.1607 阿部副部会長
支部推進が総務部会に入り No. 670 今野副部会長管掌
- (2) 経理部会が新設され No.1032 瀧川部会長
- (3) ネット部会 No.1581 黒川副部会長
- (4) 会員部会 No.1388 寺田部会長、No.1668 槇野副部会長
- (5) 監事 No.1361 木村監事、No.1591 肥後監事

議長は本日の総会における議案のすべてが終了したことを告げ、議長は議事進行に関し出席者の協力を謝し、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成28年5月29日

議長 桂 裕章 ⑩
議事録署名人 小松 勝正 ⑩

平成28年度 南国暮らしの会 役員会・支部長会議事録

日 時：平成28年5月28日（土）13：00～16：30
場 所：品川第二区民集会所 第一集会室
出席者：大野理事長（No.434）、歌田副理事長（No.996）阿部副理事長（No.1607）
山田理事（No.1108）、澁谷理事（No.1208）、金井理事（No.1244）、
青木理事（No.1309）、寺田理事（No.1388）、森川理事（No.1533）、
鈴木理事（No.1537）、山本理事（No.1578）、黒川理事（No.1581）、
肥後理事（No.1591）、堀江理事（No.1612）、槇野理事（No.1668）、
川野理事（No.1640）記
桂北海道支部長（No.1285）、佐藤東北支部長（No.1027）、
氏家前東北支部長（No.498）、
肥後関東甲信越支部長（No.1118）、土井東海支部長代行（No.843）、
平山関西支部長（No.173）、穴見九州支部長（No.651）、
加藤セブ支部長（No.1410）、
高田監事（No.712）、山科監事（No.1068）、馬場相談役（No.732）
新理事候補者：今野力男（No.670）、高橋眞治（No.1225）、兼森省治（No.1431）

阿部理事の司会のもと大野理事長の役員会開催の挨拶と本部からの諸説明のあと、金井理事の司会により役員・支部長会を開催した。

1. 役員・支部長の紹介

出席者全員の自己紹介があった。

2. 理事の選任及び監事の推薦について

大野理事長より退任・新任役員の説明があった

退任理事：土井研一（No. 843）、山田美弥子（No.1108）、金井修二（No.1244）、
森川文枝（No.1533）、鈴木元恵（No.1537）、肥後信彦（No.1591）、
堀江健夫（No.1612）

新任理事：今野力男（No. 670）、瀧川清人（No.1032）、高橋眞治（No.1225）、
兼森省治（No.1431）、吉田 博（No.1575）

退任監事：高田勝弘（No. 712）、小松勝正（No. 750）

新任監事：木村秀男（No.1361）、肥後信彦（No.1591）

3. 平成27年度事業報告と南の国の現況

大野理事長より事業報告があった。内容については会報春季号P. 3～10を参照。

5月27日現在、会員数は502名と報告があった。

4. 平成 28 年度事業計画、役員業務分担

大野理事長から 28 年度の事業計画の説明がなされた。(春季会報 P.14 参照)

また役員の業務分担について説明がなされた。(役員・業務分担表参照)

5. 各支部の 27 年度活動報告 (国内支部会計報告含む)・28 年度活動計画

(春季会報 P.6～9 と配信済資料参照)

①北海道支部 桂支部長より

北海道新聞海外ステイ講演会(4月)に80名の参加者があり新会員の参加も多かった。

ダバオ体験報告会(12月)に25名の参加者があった。

北海道は夏の避暑地として注目されており季節移住が多いので各自治体が積極的に誘致活動を行なっている。

タイ・フィリピンへの体験予備軍が多い

行事を開催すると支部が活性化する

南の会のカラーチラシの配布を希望する。

会員が徐々に増えているので頑張っていきたい。

②東北支部 佐藤支部長より

東北支部は会員数(8名)が少ないのでコンパクトな活動をおこなっている。

今後、サロン会(情報交換会)を年2回開催するなど会員を増やす努力をしていく。

③関東甲信越支部 肥後支部長より

サロン会懇親会を9回実施 参加人数は平均で53名だった。

懇親活動として6月に築地市場散策(参加者35名)

12月に台湾高雄観光(参加者14名)

サークル活動としてパソコン教室とテニスを毎月開催している。

④東海支部 土井支部長代行より

定例会と懇親会を毎月第2日曜日に開催している。平日サロンも行っており、平均10人前後が参加している。

支部としては積極的にミニサロン会、外部講師による講演会を開催、ゴルフ会

2回のマレーシア下見ツアー等活気が出ている状況

ブログがあるので見て欲しい

⑤関西支部 平山支部長より

支部役員会を年4回平均10人

サロン会を5回開催平均37人

九州支部との支部間交流会

会員数が減少しているため5月28日、29日に大阪で初めて行われるロングステイ財団のフェアに急遽参加する事にした。理事会の後押しで会場の設営も無事終わり、南国暮らしの会のチラシを200枚用意したが本日(5月28日)午前中になくなり、追加300枚を用意した。アンケート用紙も提出してもらっているが6月12日の例会へゲスト参加のお誘いをチラシに書いてあるので期待できる内容ではないかと思っている。

※(最終的には70枚程集まった)。

広報部会の理事よりアンケート用紙に書かれたメールや電話等にフォローアップするのが今後一番大事というアドバイスがあった。

⑥九州支部 穴見支部長より

サロン会と懇親会年4回平均20人

パソコン勉強会2回平均10名

ベトナム下見ツアー10名参加

熊本地震では会員の方で大きな被害を受けられたという情報は入っていないという事だった。

⑦セブ支部長 加藤支部長より

フィリピンとセブ島の近年のインフラ整備の状態や治安等の報告があった。

6. その他

(1) 会員部会 寺田理事

夏・秋季号を発送するときに同封する「平成28年度会員名簿」の作成を予定している。

「役職名」の欄に役職を記入するので、各支部長は支部役員の報告を会員部会長にして欲しい。

(2) ホームページ委員会 歌田理事

各支部の活動情報をHPに掲載したく、情報を提供して欲しい。特にHP委員がいない支部はよろしくお願ひしたい。

(3) 会報部会 青木理事

今年度は経費削減の為印刷会社を変更したので30万円は確実に減らせる、また内容的には活字も大きくなり表紙もはっきりしており工夫が成されている。会報の発送作業も簡易化され、総合経費が減り手間も省け問題はないと思う。現在会報が年3回あり原稿を集める事に毎回苦心している。会報部員(6人)が関東甲信越支部に集中しているのが問題点であり、且つ1回の担当者が2人で負担になっている。各支部の会員に出来るだけ原稿を募集したいので各地方支部に会報部員と直接情報交換を出来る人を置いて欲しい。又サロン会の案内の機会などにこまめに原稿を募集していることを周知して欲しいとの要望があった。

以上で役員会・支部長会を終了した

平成28年5月28日

NPO 法人南国暮らしの会

議長 大野 悦子 ⑩

署名人 金井 修二 ⑩

平成 28 年度 (19 期) 役員・業務分担表

◆理事業務分担 凡例：◎部会長 ○副部会長 2016 年 5 月 14 日現在

部門担当	担当理事	業務内容
I 理事長	434 大野 悦子	・会総括代表・総会、臨時総会招集・現状情報収集・資産管理 ・理事会、役員会招集・理事会議長・官庁関係資料の提出
II 副理事長	996 歌田 晃一 1607 阿部 滋敏	・理事長の補佐 ・各分会総括
総務部会 (事務局)	◎ 996 歌田 晃一 ○ 1607 阿部 滋敏 670 今野 力男 1225 高橋 眞治 1309 青木 一義 1431 兼森 省治 1640 川野 俊次	・定款(会則)等の改廃・日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成 ・総会、例会、懇親会、催しの等企画及び実施、同会費徴収、テーマ策定 ・会場設定、運営、記録、発表、総会議事録作成・各委員会のまとめ及び確認 ・理事(役員)会テーマ策定資料・理事(役員)会招集実施(会場設定、運営管理、記録、発表) ・理事(役員)会議事録作成・税務関係(法人税、資産税管理等) ・「南の会」必携編集作成
(支部推進)	○ 670 今野 力男 173 平山 三雄 1581 黒川 敏彦	・支部統括 ・支部活動支援
経理部会	◎ 1032 瀧川 清人 434 大野 悦子	・入会金、年会費徴収 ・一般収支・金銭出納記録 ・決算の事務 ・会費納入票回送
会報部会	◎ 1309 青木 一義 ○ 1207 宮原 正宇 1208 澁谷 幸一 1575 吉田 博 1578 山本 雅巳 1640 川野 俊次	・会報等の原稿収集、編集、整理、校正、印刷、製本、発送 ・会員への情報提供及び会員からの情報収集 ・年3回(新年・春・夏)発行
広報部会	◎ 1207 宮原 正宇 ○ 1388 寺田 光江 1575 吉田 博 1668 槇野 昭一	・「南の会」の対外的広報活動・マスコミ取材窓口(ロングステイ財団窓口) ・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集
ネット部会	◎ 1578 山本 雅巳 ○ 1581 黒川 敏彦 1431 兼森 省治	・南国掲示板(BBS)運営 ・会員メールアドレスの管理
(HP)	○ 996 歌田 晃一	・「南の会」HP作成、修正、保守
会員部会	◎ 1388 寺田 光江 ○ 1668 槇野 昭一 1208 澁谷 幸一 1225 高橋 眞治	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合せ者の資料等の作成及び発送 ・会員名簿作成・問合せ向け「南の会」案内書編集作成 ・会員からの情報収集・会員証発行 ・会報等の送付先の掌握及び宛先シール作成(会報部会と連携)
監事	1068 山科 滋雄 1361 木村 秀男 1591 肥後 信彦	・理事の業務執行状況の監査・この法人の財産の監査 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告又は所轄庁に報告 ・理事会業務執行に対する会員苦情等の精査
相談役	732 馬場 章介	・会運営のキャリアを活かし理事長及び理事への支援・その他

理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれを優先する。

平成 28 年度 委員会の構成表

◆委員会について（委員の委嘱状は発行しない。但し、この構成表が全会員に配布される。）

- ・部会は部会運営上の調査・研究等を委員会に委嘱することができる。
- ・理事会は特別委員会を開設し、特命事項を委嘱することができる。
- ・特別委員会は理事会委嘱の特命事項の調査・研究を行う。
- ・委員会の委員長は理事会に於いて選任し、長はその任を遂行する。
- ・委員長は理事および理事経験者が担当し、当該部会に委員会の経過報告を行う。
- ・構成員は委員長に一任する。但し理事会にその構成員の報告を行う。
できるだけ有職会員の意向も取り入れた会の発展に寄与する人選をする。
- ・委員会はできるだけ半年から一年以内に答申を行う。案件の答申は部会経由で総務部会にてチェック後、理事会に諮り、決定後は当該部会にて業務を遂行する。但し、単発的な案件は理事会決定後、実行委員会で業務の遂行を行うこともある。
- ・特別委員会の委員長はその答申を理事会に提出する。決定は理事会に委ねる。

◆委員会および構成員 凡例：◎委員長 ○副委員長 *理事以外（凡例ごとに会員 No. 順掲載）

総務委員会	◎ 996 歌田晃一 1225 高橋眞治	○1607 阿部滋敏 1309 青木一義	434 大野悦子 1431 兼森省治	670 今野力男 1640 川野俊次
規定・必携編集委員会 官公庁申請	◎ 996 歌田晃一 *1017 光城保之	○ 434 大野悦子	1032 瀧川清人	1607 阿部滋敏
支部推進委員会	◎ 670 今野力男	○ 173 平山三雄	1581 黒川敏彦	
経理委員会	◎1032 瀧川清人	○ 434 大野悦子	*1537 鈴木元恵	
会報編集委員会	◎1309 青木一義 1578 山本雅巳	○1207 宮原正宇 1640 川野俊次	1208 澁谷幸一	1575 吉田 博
広報委員会	◎1207 宮原正宇	○1388 寺田光江	1668 槇野昭一	1575 吉田 博
アフターロングステイ 委員会	◎* 163 宮崎哲郎 1207 宮原正宇	○* 712 高田勝弘 1388 寺田光江	○* 302 末英樹 1668 槇野昭一	
ネット委員会	◎1578 山本雅巳 *1178 長谷川愈晃	○1581 黒川敏彦	1431 兼森省治	
HP委員会	◎ 996 歌田晃一 (北海道支部：*245 佐藤真理子、九州支部：*581 朝永美代子)	*1391 十河和夫		
会員担当委員会	◎1388 寺田光江 * 923 永田隼人	○1668 槇野昭一 *1735 木村昭彦	1208 澁谷幸一	1225 高橋眞治
特別委員会	事業拡張調査委員会：都度任命			
	苦情処理委員会：都度任命			
国内支部	・北海道支部長 ・関東甲信越支部長 ・関西支部長	1285 桂 裕章 1607 阿部滋敏 173 平山三雄	・東北支部長 ・東海支部長 ・九州支部長	1027 佐藤周司 1544 森幸太郎 651 穴見保彦
海外支部	・マニラ支部長 ・バギオ・バンガシナン支部長 ・チェンマイ支部長 ・ペナン支部長 ・ゴールドコースト支部長代行	999 中山恒夫 227 斎木 一 239 伊藤 寛 1630 菅野 純 586 磯崎興志	・セブ支部長 ・ダバオ支部長 ・クアラルンプール支部長 ・ハワイ支部長 ・バンコク支部長	1410 加藤正也 1261 藤本晴久 1682 守田 章 1439 塩川 亨 (現在不在)

アフターロングステイ委員会設立のお知らせ

アフターロングステイ委員会 委員長 No.163 宮崎 哲郎

1. アフターロングステイ活動の必要性

ロングステイを実行してきた方々が「第二の人生」を海外で謳歌していても70歳を過ぎる頃、自然と日本へ引き上げることを考えるようになり、その後各人の状況に依って帰国する会員が増えてきました。

この原因としていろいろありますが、海外暮らしがショート、ロングに関わらず長くなりますと（10年～15年）身体健康のみならず心の疲れ、即ち「飽き」が来るという精神的要素に依る事が多いような気がします。

年齢的にいうと、67～69歳はまだまだ元気にロングステイを楽しんでおられますが、概ね後期高齢前後75～77、78歳くらいからこの様な状況が出てくる様です。

夫婦ふたりとも元気いっぱいというのは60代までのこと。70代になると個体差はありますが、身体ばかりでなく精神的にも昔と比べ明らかに加齢を意識、感じるが多くなって参ります。夫婦の片方が体調を崩したら、ロングステイは終わり、大半の方々は帰国することになります。

そこで海外でのロングステイ（第二の人生）を卒業し、日本に帰ってきた後を「第三の人生」と称し、その過ごし方を如何にするかを「アフターロングステイ」と名づけました。迫りくる老いと向き合いより一層充実した楽しい老後を迎える為の備え、所謂「終活」問題をテーマとし、その取り組みを「会の組織」として積極的に進めるべく、有志を募って昨年からは勉強会を開始致しました。

たとえ長い間ロングステイをしていても、殆どの方は日本に帰ってきて夫婦で老後を過ごすというのが一般的です。ロングステイをした後に何をするかには、それぞれの事情や環境、日本の居住地によって当然個人差がありますが、誰でもこの年齢で直面するのが、年齢相応の準備「病気、介護（認知症）、相続問題（遺言書作成）、成年後見制度の検討、終の棲家の選択等」の「老いじたく」所謂「終活」の準備です。

この終活準備項目は上述のアイテム以外に約20項目以上（参考資料参照）有りますがこれらを実行するには体力、知力の衰えの無い時期として概ね60歳後半から70歳半ば頃ではないかと考えております。

これらの「備えは」誰しも必要な事と分かりながら「そのうち何とか」とか「何とかなるだろう」と準備を伸ばし伸ばしにして先送り、実行されている方は少ないのが現状です。誰しも意外とこの準備の時間及びこれを実行する自分のパワーは残り少なくなっている事の認識が希薄で、早めの気づきが必要ではないでしょうか。

そのために如何にするかが問題です。この課題について自分ひとりで考え計画することや、それに関する情報収集の面倒くささ、そしてどうすれば良いのかその方法等が、非常に煩雑な為、老化に伴う現象として日常生活に埋没し、ついつい「明日、明日」と後回しし、アツという間に歳を重ねる云う事になります。

そこで勉強会の様な志向の同じ仲間が協力し合い知恵と力を出し合って多くの情報を集め、対策を勉強することが最もイージーで実行し易いやり方だと思います。会員はこれに依り得ら

れた情報をベースにすれば各人自分の状況、家族環境にアプライし実際行動に結びつける切っ掛けが出来ると考えております。

こうした情報交換やお話をしながら「ロングステイ」をも見すえ、「仲間作り」、「助け合いの場作り」「懇親の場」などの組織作りを実行する事がベストな選択だと考えます。

海外でのロングステイが終わり帰国した時、組織を離れ永年築いた「南の会」の友人達との縁を切り、新しい友人や地域社会とのネットワークの再構築は容易な事ではないでしょう。そうした古参会員への「受け皿的活動」と必要な情報提供等のサービスをすることに依り、退会を繋ぎ止め、減員を少なくし会の維持に貢献出来るのも大きなメリットではないかと思えます。

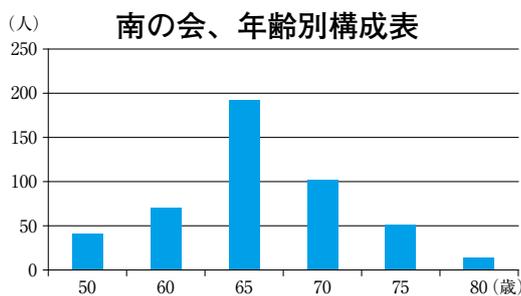
残された人生で自分の身に何か起こった時の準備は、ロングステイを終えた人ばかりでなく、日本を離れ長期間ロングステイを現在実行中の方や、これから始める方々にとっても本来は必要な事であり、後顧の憂いなく安心して、海外での生活を楽しむ事が出来るという効果も合わせて考えております。

2. アフターロングステイ委員会の設立

以上の様な必要性に鑑み理事会は、将来的な展望を踏まえ今までの勉強会を会の活動の一環として行う為に専門委員会を発足させ、広報部会の下部組織として立ち上げ、理事会に於いて事業計画の一環として承認されました。

名称は「アフターロングステイ委員会」となり、広報部会がバックアップ（後方支援）し活動に関東地区にとどめることなく国内外支部へ広げる事を目標に掲げました。

先ず下記のグラフをご覧ください。これは直近の会の年齢構成が一目で分かる表です。



なおこのグラフは凡その人数ですのでご了承下さい。

先ず現在 65 歳以上 70 歳までのロングステイ真っ盛りの会員が最も多く会の中心である事が分かります。非常に正常な会員構成です。そしてそろそろロングステイを止めるか、国内回帰し如何に生きるかと云う問題や、終活問題に直面する高齢会員（70 歳～80 歳）がほぼ同等近くに居るという事を示して

おります。この委員会の設立は正にタイムリーな事だと思えます。

この活動の重要性を今後全国会員に広め、啓蒙実行して行くことも新旧年代差 15 年ほどある会員が混在する南の会の様なサークルにとってはこれから大切なミッションになるでしょう。

会員各位にはこの様な活動を開始した事を本稿にてお知らせしその趣旨をご理解頂ければと思います。又活動結果に就きましては BBS 掲示板その他の媒体等に依り順次ご報告申し上げます。更に本活動主旨に賛同され参加ご希望の会員の方々はいつでもオブザーバーとしてご参加される事を歓迎致します。

以上

参考資料：アフターロングステイ委員会の調査、検討項目

1. 終の棲家（有料老人ホーム、サ高住、ケアハウス等）
2. 成年後見制度
3. 遺言書作成
4. 認知症予防対策
5. 健康維持、健康寿命への自己管理
6. お墓・葬儀
7. 財産相続
8. 断捨離
9. 在宅介護検討（包括ケアシステム）
10. 会員が困った時の相談窓口
11. 介護施設の見学会
12. 老後資金の必要総額検討
13. 2025年問題検討
14. 高額医療費制度の認識
15. 尊厳死の宣誓書
16. エンディングノートの作成

以上

熊本地震・私たちの体験

九州支部 No.581 朝永 清寿

●「くまもん」より有名になった「熊本地震」

全世界にすっかり名をとどろかせてしまったわが町、熊本。輝かしい名誉を伴うのであれば大いに自慢するところだが、今回はそれもいかない。自然災害史上記録に残る大惨事となった「くまもと地震」は、発生から2か月を過ぎた今も規模は小さくなったとはいえ、ドン、という突き上げるような音とともに毎日私たちを怯えさせている。6月25日現在有感地震が前震以降1,800回を超え、いまだに揺れ続けているのである。

●恐怖の地震体験

4月14日の前震は食事の後テレビを見ている時に突然起こった。激しく揺れたが、食器が少し落ちて割れた程度で、棚が倒れる事もなくなんとか持ちこたえた。

今回の地震は直下型で、予報よりも地震の到達が早く、すでに大きく揺れている最中に警報が鳴り出し「意味がない」とスマートフォンに文句を言いながら、NHKの緊急放送を見た。

益城町が震度7との報道に驚かされ、更にライトアップされ大写しの熊本城から何やら煙のようなものが立ち登っていて不吉な予感がしたが、激しく繰り返す余震の中、風呂にも入れず不安な一夜を過ごした。

幸い我が家は電気、ガス、水道とも特段の支障はなかったが、翌朝のテレビに映し出されている熊本城、益城町の無残な姿に声を失った。



熊本城でボランティアガイドをやっている関係上、NHKの映像を見て、いてもたってもいられず早朝からお城へ飛んでいった。案の定、数か所の石垣と建物の一部に被害が出てはいたが壊滅的なものではなく、「5月の連休前には観光客を受け入れることができるかもしれない」「これだけの地震は今後100年発生しないだろう」と勝手に判断して、周りの人にもそんな風に言ってしまった。事実余震はだんだん少なくなって15日の午後はこのまま収束してしまいそうな様子だった。

すっかり油断してしまい、益城町の方々には申し訳ないが早めに風呂に入って2階のベッドにもぐりこんだ。しかし夜が更けるとともに余震の間隔は短くなり、少しずつ強くなって揺れるたびに箆笥の引き戸がガタガタ鳴るので「うるさいなー」と箆笥に文句を言いながら眠り込んでしまった。



数時間後、日付が変わって16日の深夜1時25分、とんでもない揺れで目が覚めた。

激しい揺れとともに、すさまじい地鳴りの音、家の軋む音とともに、傍にあった洋ダンスの扉がベッドに倒れ掛かり、棚の上のものがすべて落ち、階下ではガラガラガッシャーなどのすさまじい音が耳を貫き、ベッドの中で治まるのをじーっと待った。

強震は30秒程だったが非常に長かったような気がする。その後も立て続けに強い余震

が発生し、2階にいるよりも1階の方が安全かなと1階のテーブルの下に逃げ込んだ。停電で周りは真っ暗、念のために懐中電灯を枕元に置いていて助かった。

余震で、突き上げるような揺れを受けながら、しばらくテーブルの下にもぐりこんでいると「朝永さん大丈夫ですか、外の方が安全ですよ」と近所の人が玄関のドアをたたきながら声をかけてくれた。「大丈夫ですよ」と答えたもののパジャマ姿で外に出るわけにもいかず、服をなんとか探し出して外に出ると近所の皆さん達はすでに近くの駐車場に集まっていた。「油断したー」と悔やむ声が聞こえた。

「防火対策のため各家庭ともブレーカーを落とし再度ここに車で集まりましょう」となったが、家に入って懐中電灯で室内を照らすと、鍵類は台所付近の棚に掛けて保管しているはずだが飛んでしまって散乱、棚は倒れ、食器類も割れ一歩も踏み込めない状態。



車の鍵も見つからず、ガラスの破片を気にしながら探しているうちに、ようやく床に落ちていたスペアキーを発見し車庫に行った。ところが車庫内ではバイクが車のボンネットに倒れ込んでいてその衝撃でボンネットはへこみ、バイクの風防は割れる等こちら側にも被害が出ていたが、とりあえずバイクと車を離して駐車場に移動し車中泊を始めた。(足を思い切り伸ばすことが出来ない、寝返りもままならない乗用車での不便な車中泊は1週間続いた。)

翌朝、水と食料を求めてコンビニに行くと、すでに長蛇の列。この付近で開いているコンビ

ニはこのセブンイレブンだけだった。(後で聞いたが、この店長さんの自宅は全損壊だったそうで、3日間は一睡もしないで、家族とともに別のアパートに引っ越されたそうである。)

列に並んだ私が店に入ったときは、水や菓子・パン等の食料は売り切れていて、仕方なく残っていたお茶のみ購入した。それを隣の方に話したら2リットルの水とおにぎり2個を分けてくださった。昼前にはこのコンビニにおにぎりとお弁当がトラックで入荷し再度列ができた。

たくさんの方に行き渡るようにと販売制限されていて30分並んでおにぎり1個とお弁当1個を確保した。“避難所に行けば、水も食べ物もある”という情報はあったが本当に困っている人がたくさんいる中、我々はまだ自宅が残っている分ましな方、出来るだけ自分たちで乗り切ろうと思って避難所には行かなかった。

家の中は惨憺たる状況で、午前中はガラスの破片に注意しながら掃除機を片手に少しずつ片づけたが、大変な作業となった。倒れた棚は床に横たえ、落ちた机上等のものもすべて床においたままにして余震に備えた。食器棚の扉は今でもガムテープで補強している。

同居している92歳になるおふくろは、3か月ほどの入院を終え前震の翌日15日に退院する予定だったが、病院が、余震が治まるまで退院を伸ばしてくれてほんとに助かった。歩けないので、夜中に避難したり、車中泊などとんでもないことで、それこそ非常事態になっていたかもしれない。

●非常時の電気、水、ガス

電気はすぐに回復して、冷蔵庫にあった蓄えがその後の食事に充分間に合った。水道とガスの復旧は遅れたが、ガスはカセットコンロで代用できた。少し離れたディスカウントスーパーが翌日には開き、驚いたことに新鮮野菜がたっぷり並んでいて、しかも安く買うことが出来た。

スーパーが開いたのはここ一軒だけ、ほとんどのスーパーが開店するのに一カ月以上かかり、半壊状態で、いまだ持って再開できないところもたくさんある。

一番困ったのは水。トイレは、風呂水を残していたのでしばらくは大丈夫だったが、野菜は買っても水がないと洗えない。調理済みで冷凍保存していた蓄えもそれほど多くはなかった。

そういった中、熊本市に隣接している玉名市の会員Aさんが、被害が大きかった南阿蘇の被災地支援で水を運んでいく途中で私宅に立ち寄って、ポリタンク2個の水を置いていってくれた。高速道路は閉鎖、一般道路は災害用の自動車であふれていて、平日の数倍の時間がかかったようである。その後Aさんは自分のキャンピングカーに寝泊まりしながら、南阿蘇の避難所で、トイレに流す水の運搬、土砂で汚れた避難所の掃除、弱り切った老人の話し相手になるなどのボランティアをされたということであった。

私が頂いた特大のポリタンクは、我が家より水道の復旧が遅れた、熊本市のもう一人の会員Mさんに引き継がれた。

ガスがなかなか復旧せず、最後まで困ったのがお風呂。テレビは近くの銭湯が24時間営業しているとの報道もあったが、お客さんが殺到して、列に並んでも午前中に行き入浴は夕方になるなど聞くと、ただでさえ待つのが大嫌いな性分、とうとう1週間くらい風呂なしで我慢した。生涯このようなことは二度と経験したくない。その後、早朝（朝5時くらい）なら銭湯の入浴人口にも変化があるかな？と行ってみると、予想がピタリ、待ち時間なしで入浴出来、入浴は早朝の銭湯で、ということになった。

我が家のお風呂に必要な都市ガスの復旧は、火災発生防止のため非常に慎重だった。ガスの元栓の開閉はすべて業者がすることになって、まず全家庭のガス栓を閉め、安全が確認

されたところから一軒ごとに開けていった。

地震で壊れたガスを補修しながらの作業で、熊本のガス会社では追い付かず、全国のガス会社が集合していて、我が家の周りは東京ガスの職員が道路を掘り返しての補修と、ガス栓の開閉をしてくれた。非常に親切だった。

ガスの復旧まで地震発生から2週間が経過していた。

●過去の教訓は生かされたか

熊本地方は過去にも大地震が周期的に発生し、その都度被害と復興を繰り返し現在に至っている。

江戸時代の初期1625年に発生した地震では熊本城の瓦が落ち石垣も倒壊し、更には硝煙蔵までもが爆発し使い物にならないくらいに破壊され、加藤家に代わった領主細川氏が修理改造をした記録がある。

その後も間隔を置いて発生したが、1889年(明治22年)には今回と似たような地震(大きく揺れたのが2度)で、お城の石垣の倒壊や市内での液状化等の被害が出ている。専門家ではないが、過去繰り返されている大地震がそろそろ発生してもおかしくない時期にあったような気がする。

4月14日の前震と4月16日の本震の2回にわたり震度7の大地震に見舞われ甚大な被害を受けた益城町中心部から我が家までは直線距離にして5.5Km、我が家も同様激しい揺れに2度襲われてしまった。

●遠い親戚よりご近所さん

今回の地震では改めて感じる事がたくさんあった。

まず、ご近所さんとのつながりの重要性。普段何事もないときには特に意識していないお隣さんが、非常時にはとても大きな頼みになることを今回実感。みんなそれぞれが大変な時に、周りの人を思いやり、弱いものに声をかけ、手を貸し、助け合おうという、まさに日本人の姿がそこにあった。特に年齢の若い人が、大きな声で一人暮らしの老人宅に声かけて回ったり、

避難所でお手伝いをしたりとの話を聞いて、若者を見直した。私の隣保班では、見舞に送られてきた品を分けあったり、それをきっかけに物々交換が始まったりして、いい関係が今も続いている。ご近所さんは遠くにいる身内以上に大切ということがわかった。

一方、南の会の会員さんからも、前震の翌日から早々とお見舞いのメールや電話をたくさんいただいた。テレビの報道が大きな被害を受けたところを中心に映し出すので、皆さんに心配をおかけしてしまった。また関西支部のKさんからは、「何か不自由なものはないですか？今ならまだ郵パックが受け付けてるようなので」と言っていたので、水がなくてパニックになっていたカミさんは、とんでもないことに水を送ってくださいと頼んでいた。Kさんは無茶なお願いにも応えてくださってすぐに準備していただいたようだったが、その後郵パックの受付はすぐに締め切られてしまったようで、本当にご迷惑をおかけ

してしまった。郵パックの受付が再開した後は、Kさんはじめ数人の方からたくさん元気付けの銘菓などを送っていただき、これもご近所さんでありがたく分け合った。

年賀状のやり取りもない、遠くに住む小学校、中学校の同窓生などからも電話がきて、人のつながりって永遠なんだなあとしみじみ思ったことだった。

●非常災害時の備え

これについては以前からわかっていたつもりものの、実際は何もしていない、というのが今回露わになった皆さんの感想。まず水の蓄えがまったくなかったということは何をか言わんや、である。緊急に持ち出す防災袋、貴重品は災害が起こってから集めた始末。家が倒壊していたら、と思うとぞっとする。なのに、もうそんな地震は来ないだろうと、今はまた気が緩んでしまっている。

非常時の備えとして、しっかり対策を立てておくべきと強く思った。

私のチェンマイ滞在記

九州支部 No.1476 野田 文藏

チェンマイに滞在される南の会の方々は、3ヶ月滞在を年に2回される方が多いように見受けられますが、私の場合は1ヶ月だけの滞在です。しかも、チェンマイだけです。

●どうしてチェンマイ

チェンマイに行くようになってから、早6年経ちます。

私の田舎（鹿児島県鹿屋市）の親戚で、チェンマイに7年間滞在されたことがある夫婦Sさんがおります。だれやめ（晩酌）の度にチェンマイのことをいろいろ聞かされましたが、2010年にゴルフツアーを企画したので行かないかというのが始まりでした。

それまでも海外旅行は、観光目的でフィリピン、台湾（6回）、香港、マカオ、ハワイ、モンゴル、中国に行きましたが、海外でやっ

てみたかったゴルフツアーということだったので参加しました。5泊7日で3回のゴルフと2回の観光を楽しめました。きれいに手入れされたゴルフ場は料金も高くなく、チェンマイ料理は美味しく、古都京都みたいなたたずまいで癒される場所があり、そして都会的な便利さをも持ち合わせた街であることが気に入りました。

それにこれまで行った外国に比べ、物価が安く（今、少しずつは上がってきていますが！）、治安も良く、いろいろな活動ができて退屈しないところも良いです。また、至る所に花があり、タイの人々は朗らかで笑顔も多いです。

●滞在のきっかけ

私は杉の花粉アレルギーがあり、毎年2月



像の赤ちゃんとツーショット

から3月にかけて鼻水・くしゃみ・目のかゆみに大変悩まされていました。それでこのゴルフツアーの翌年の杉花粉の始まる2月20日頃からチェンマイを訪れ、花粉が収まる3月20日頃まで滞在してみた結果、何の症状もなく過ごせるようになりました。それまで25年間悩まされた花粉症から解放された喜びは、何ごとにも代え難いことでした！！

以来、毎年この時期だけチェンマイに滞在するようになりました。

●「南国暮らしの会」への加入

初めて海外で花粉疎開を試みようと思った時には、やはりいろいろなことに不安を感じましたので、海外長期滞在の体験記の本を読んだり、ネットで情報収集をしたり、渡航先の選定、旅費の日安、安心・安全の問題など考慮しました。その結果、いざ困ったときには相談に乗ってもらえればと海外長期滞子の趣味同好会的なNPO組織の「南国暮らしの会」に入会させていただきました。

入会後の情報収集でも、あちこちでの海外滞在があることを知りましたが、とりあえず前年に7日間滞在して魅力を感じたチェンマイに行きました。

以来、チェンマイ支部の方々には、ゴルフ・サロン会・小旅行などでお世話になり、九州支部でも情報交換・パソコン勉強会などでお世話になっております。

海外での長期滞在のための役立つ情報が、

たくさん得られる有意義な会です！今後も自己責任の原則を守って、組織のメンバーとして協力しながら、お世話になりたいと思います。

●未知の長期滞在への対策

初めての滞在の時は、同じ花粉症で悩まされていた近くのMさんに一緒に行きませんかと相談しました。Mさんは、それまでも何回かチェンマイを訪れていましたが、Sさんがチェンマイ滞在中にSさん頼りだったので、Sさんの知り合いのタイ人で、日本語をある程度話せるNさんに事前に連絡を取ってもらい、Mさんの2週間の滞在中1日1,000バーツ（約3,000円、二人で折半）でチェンマイでの行動（運転手兼通訳）を手助けしてもらえるように手配しました。後になって1,000バーツは高かったのではと思いましたが、この時はこれが最善の方法で、かつ致し方ない価格だったと思います。これであちこちへの移動と交渉は、スムーズにかつ短時間にできました。

Mさんとは2週間の滞在中、タイ人のNさんをお願いし、ゴルフ9回、Mさんの好きな競馬に2回行きました。これ以外は、今後の滞在のために、サービスアパート、コンドミニアムや1戸建ての売り家などを案内してもらったり、タイ料理をあちこちで食べたり、寺や市場なども見学させてもらいました。Nさんのおかげで、後々のチェンマイ滞在中に大変勉強になりました。もし、Nさんを手配していなかったら、恐らく二人で右往左往していたのではないだろうか。

●一人滞在とチェンマイ情報誌「チャーお」

Mさんが帰国されてからの2週間は、一人で行動です。まだ、南の会の方を一人も知らない頃で、これからどう行動しようかと考えていた時、日本語での日本人向けのチェンマイ情報誌「チャーお CHAO」が大変役に立ちました。この情報誌は、月2回の発行で飲食店、旅行会社やホテルなどに置かれてあり、無料でもらえます。内容は飲食店、イベント、

ニュース、コラム、地図など私たち日本人が知りたい情報がたくさん掲載されています。チェンマイ在住の日本人の方々は、我先にもらって帰ります！

この中に日本人の卓球の活動が書いてあったので、ツクツクというオートバイにリヤカーをつけたようなタクシーで（初めて乗りました！）、むつかしいタイ語はしゃべれないので、「チャーお」の地図を見せて、指さして、会場まで行きました。私より年配の方ばかりでしたが、みんなうまくて楽しかったです。

翌年にはこのメンバーの方にバトミントンもあるよと勧められたので、そちらにも行くようになりました。

●試行錯誤での体験

初めての1ヶ月滞在から今まで、試行錯誤でいろいろなことを体験しました。食べ物、乗り物、タイの携帯電話、日帰り旅行などです。

チェンマイでの日帰り旅行は、英語ガイドに比べ日本語ガイドは料金が倍ぐらい高くなります。ある時、今度のガイドは日本語が少し出来るよと誘われたので、英語ガイドの日帰り旅行に参加してみたら、「おはようございます」だけでした！

私は、田舎での仕事も若干あるので、いつもは30日未満のノービザでの滞在ですが、観光ビザでの滞在やノービザの延長での滞在にもチャレンジしてみました。

観光ビザの申請の時は、申請書を英語で書くようになっていますが、自分でやると時間がかかるのでフィリピン人の飲み屋に行って、英語を教えてもらって書きました。

ノービザでの延長の時は、チェンマイ連絡掲示板で情報を得ていましたので、いつもの30日未満での滞在を37日にして航空券を買って空港に行きました。ところが、日本出発の空港カウンターで、飛行機の往復切符での滞在期間ではビザが必要だと言われ、なかなか通してくれませんでした。空港の係官も

それぞれの国のことは全て把握できないのだろうと思い、私はタイではノービザでの延長が出来る旨の話をしましたところ、どこかに問い合わせをされてやっと飛行機に乗せてもらえました。

タイのイミグレーションでの延長手続きでは、大体の方が旅行会社などの代理人をお願いして手続きをやっているようです。でも私は、自分でやってみようと思い、一人でイミグレに行きました。

イミグレの事務所には朝7時前には行きましたが、すでに100人位の外国人たちがいました。私はまず受付場所を探して、申請書をもらい、これを書くのですが、英語辞典を見てもわからないところがあり困りました。それで周りを見渡したら、赤い色のパスポートを持っている人がいる！日本人だ！「すみません、このところの書き方を教えてくださいませんか。」こんな感じです。

居住しているコンドの住所を書くところでは住所が分らなかったのも、タイのガイドブックに記載してあるコンド近くのホテルの住所を書いて出しました。マイペンライ！オーケイでした！

11時までかかりましたが、無事に緊張の体験は終わりました。

●日常生活

チェンマイでの生活は、コンドミニウムに寝泊まりし、朝はパン、昼はタイ料理、夜は日本料理の夕食というパターンが定着しています。洗濯はコインランドリーを利用しており、洗濯物は3時間もあればしっかり乾きます（湿度40%！）。夕食時は、日本人の方々にお会いして、日本語で！いろいろな話をし、情報を得られるのが楽しい時間です。

ゴルフは2日に1回、卓球・バトミントン・囲碁・マッサージはそれぞれ週に2回程やっ楽しんでいきます。

私が滞在する2月半ばから3月半ばまでのチェンマイの気候は、暑季で暑く、減多なこ

とでは雨は降りません。連日30度以上で暑い時期です（今年は39度の日もありました！）。そのうえ、私の滞在時期のチェンマイ周辺では焼き畑農業や野焼きなどがあり、煙害で近くの山も見えなくなる位空が霞みます。のどを痛める人もたくさんいるようです。なので、私がチェンマイに着いた頃から日本に帰国される方が多くなり、3月初め頃には私の知り合いも皆（！？）いなくなります。それでも、上記の趣味とタイ在住の知り合いがいるおかげで退屈しない毎日を過ごしています。

●チェンマイでの知己

チェンマイでは南の会以外でもゴルフ、卓球、バドミントンそして囲碁を通じてたくさんの知り合いができました。本当に楽しく過ごさせてもらっています。

それに、私には田舎を通じて、チェンマイに二人の知り合いがいます。食事や日帰り旅行などお互いに親交を深め、家族ぐるみでお付き合いをさせてもらっています。

一人は、私の実家のすぐ近くに住んでおられた吉見さんです。20年位前にチェンマイの女性と結婚され、2年前からはチェンマイに家を新築して住んでおられます。田舎の人達も吉見さんを訪ね、観光しています。

もう一人は、前述のチェンマイに7年間滞在されたSさんの紹介で知り合いになったランシーさんです。ランベルツアーという旅行会社を経営しています。ゴルフに付き合ってもらったり、像まつり、新築祝い、ボランティア活動などの当地の行事があれば誘っても

らったりしています。お葬式の体験もさせてもらいました。（葬式の途中でも宝くじを売りに来る人、買う人がいるのには驚きました）



ランシーさんと吉見さん

●これからは

これまで6年間チェンマイでたくさんの方々にお会いし、お世話になってきましたが、病気や高齢などを理由に日本へ引き揚げられる方も多くなってきています。

私もそれを目の当たりにして、「健康寿命」が気にかかるようになりました。健康寿命を維持するための努力をしないといけないとか、健康でおられる間に出来ることを実践していこうとか考えるようになりました。そして、チェンマイを拠点にタイのあちこちを回り、もっとタイを満喫したいと思っています。

また、今後は花粉疎開時期だけではなく、もっと長く、そして家内の退職後は家族との滞在も考えています。

チェンマイはよかところです。まだ行っておられない方は、ぜひ一度は行ってみてはどうですか。

ペナンでの単身LS生活

ペナン支部 No.1630 菅野 純

2015年新年号にて、「ペナンでのロングステイスタート」を寄稿させて頂きましたが、当時、LS生活後半年でしたので、今回はこの2年間の生活を振り返りながら少しづつ

実感して来た事（引越し、日常生活等）を、お話しさせて頂きます。（MM 2Hビザは2013年秋に、取得済）

●住居

先ず住居ですが2014年5月よりペナンでのLS生活を始めましたが、その前の3月と4月に、KLとペナンの下見をした結果、よりゆったりと生活出来る環境、物価の安さからペナンでの生活を決めました。(3月の数日間の下見で、KLよりもペナンでの生活をと決め、4月は2週間ほどかけ住居探しを実施)

これまで日本以外での生活経験が無かった為、物価の安さを強く感じながら、ペナン中心部より、北東部へ車で10分強のエリアに、築2年弱のコンドミニアムを年間契約で借りる事にしました。(3月の下見時に、在ペ会員の方より住居を決めるには3、4日の下見では、良い物件が見つけれないので、2週間ほどかけ、じっくり搜した方が良い、又、一年中真夏なので、西向きは暑過ぎるので、東向きの住居を選んだ方が良いとのアドバイスを受けたが、これが結果、非常に参考になりました)

ペナンのコンドは、ジム、プール付きで、管理費、駐車場代込みで、主に3LDK、100m²程度でRm2,000から2,500が平均的と思いますが、築年数により、価格差が出来る様です。

各戸共家具、電気製品完備ですが、各戸のオーナーが、他人に賃貸する為或いは自分自身が住む為の購入かによって、内装、家財道具に大きな違いがある事が、この2年間で良く分かりました。

2年前に決めた住居は、新しく、広く、安いと感じて決めたのですが、正に、賃貸用住居で、特にTV、冷蔵庫の大きさに、やや不満でしたが、单身生活でもあり、こんなもんかな?と、思っていました。この2年間いろいろな方のお邪魔して、オーナーによって、大きな違いがある事が良く分かって来ました。その結果、今年の5月に引越しをしました。

同じコンドで、16階から20階へと上層に



コンドからの眺望



コンドの内部

なり、オーナーがご自分の生活用にと購入したので、TVも冷蔵庫も約2割程大型となり、賃料もRm200安く借りる事が出来ました。

特にコンセントの数が非常に多く設置されており、これが大変重宝しています。引越しを経験して実感しました。

●英会話学校

もう一つ、生活で変わった事は(海外のLSの目的の一つが英会話勉強でしたが)2年前にLSを始め、直ぐに英会話学校に入りました。

週4日、3時間の授業を一年半通っていましたが、今年初めより中断した事です。学校生活は大変楽しく経験出来ました。生徒は韓国、中国、中東諸国、ショートステイの日本人等多くの国々の人達と友達となり、授業の後にはランチ、映画、ボーリング等と一緒に楽しみました。

しかし平日4日通うと、ゴルフの機会が殆ど無く、又、授業料が一挙に20%以上もUPした事、一年半の通学で友達も多く出来た事等々からです。

学校生活は、朝、学校に入って、昼、帰るまで、各国の生徒は英語以外使用禁止で、休憩時間も日本人同士でも英語オンリーで、当初は緊張しましたが、10日程で慣れ、又、各国からの先生方ともプライベートな話題が出来て、良い時間を過ごせました。

日本人は、他外国の方々と比し、文法は強い



英会話学校

が、会話は弱いという感想を持ちました。何処かの企業のCMにも有りましたが、「英会話は、勉強ではなく、聞いて慣れる事」も、実感です、

●ゴルフ

英語学校中断の結果、ゴルフへ行ける様になり、今は、毎週1回以上プレーの機会が出来ました。支部会員の方のアドバイスを受け、1年間の払い切りのゴルフ会員カード（マレーシア、シンガポール、タイの一部のコースで利用可）をRm290で購入すると、1回のプレーがRm50～60（土、日は4、5割UP）で楽しめます。

今回の「ペナンでのLS2年間」については、ここまでとさせていただきますが、ペナンの今年は例年と比べ暑く、雨も少なく、一部、給水制限も出ていますが、衣、食、住とも日本と比し大幅に安く、治安面も含め、穏やかに、ゆったり、のんびり生活するには「お薦め」です。

今後、海外でのLSを、ご検討の方々には、下見だけでも、是非、ご来島下さい。

好きです! マレーシア

東海支部 No.877 梶野 祥司

希望と期待に小さな胸ふくらませ心ときめかせた初マレーシア。

まさかあんなことが……

今年1月中旬、東海支部10名程の仲間達とクアラルンプールに降り立ちました。

最初の一週間は現地在住で東海支部のメンバーでもある鈴木保史さんの親切な案内の下、中華など食しクアラルンプールで楽しく過ごし、その後皆様と別れ私たち二人は延泊することになり、ペナン一週間、ランカウイ一週間、最後にもう一度クアラルンプールに戻り一週間、合計一か月程の旅行でした。

以下旅で出くわした乗り物の話を紹介致します。

●タクシー

クアラルンプールからペナンへは高速バ

スで向かうことにしました。その出発するバス停まではホテルからタクシーで10分程の距離です。朝早く出発するバスでしたので前日ホテルにてタクシーの予約をしました。20R（リングット）（1R≒30円）だというのでウイंकなどして高いねという15Rでいいよと言われ予約を完了しました。あとから思うとこのウイंकあたりがケチの付き始めです。翌日、朝フロントに行くとホテル付きのタクシーが待っていたのであれだなと思っていたら、横からタクシーに乗りたい人がたまたま先に乗ってしまいました。するとすぐに違う一般のタクシーを呼んでくれて荷物を積んでもらい10分程で出発のバス停に到着しました。イン



夜のツインタワービル

ド人のドライバーに15Rを渡すと一人15Rだから二人で30Rだと言われましたので、ではホテルに電話して聞いてくれと思わず普通に正論を言ってしまったら、怒り出し金は要らんと渡したお金を捨てられたので、外国でトラブルは極力避けたい一心から地面に捨てられた15R拾いました。タクシーは行ってしまうかと思ったらデジカメを取り出しシャッターを切りつつ大声でファッキングジャップなどとのしりながらなかなか立ち去りません。仕方ないので、20Rに増やして渡したら、それを受け取りそれでも収まらないのかバツが悪いのかまだしばらくぶつぶつ言いながらやっと去って行きました。すぐホテルに電話して文句を言ったら、その距離なら15Rなのにねって言っていましたが、後の祭りです。反省は、ホテルマン（前日でしかも朝いたフロントマンと別人）と交渉が済んでいるといえどもタクシーに乗る際は必ず確認すること。確認の上に確認、鉄則ですね。

100円か200円を出すか出さないかで道に捨てられたお金を拾わされ写真を撮られマザーファッカーと汚く吐き捨てられた自尊心のかけらもないお話でした。

●フェリー

嵐でした。ランカウイからペナンまで約5時間のフェリー旅、朝からその日は風が強く、マラッカ海峡は大しけ。フェリーといっても

車は積めず横7縦20列位の客席と、他にクルー数人だけのほとんど小舟です。出発してすぐに小舟はキリモミ状態になり、左右にはガラスの窓がついていて水は入らないようになっていますが、右を見たら空だけ左を見たら海だけそれを交互に繰り返し、波をかぶるというより波にもぐり込みながらバーンバーンと船体を波にぶつけて進んでいきます。それだけでも大きく不安でしたが、一時間くらいするとトップに入っていたエンジンのギアがトーンとサードに落ちました。あ、安全運転でゆっくり行ってくれるのかなと思っていたらしばらくするとセカンドに落ちそしてローに、ついにはエンジン停止です。おいおいおい。こんなとこでえ。走っていた時とはまた違う揺れになり船はまるで浮いている木葉です。繰り返しますが海は大しけでほぼ台風状態。どちらを向いても荒れた波の向こうには水平線以外、陸はおろか船一つ見えません。しかもそれは常に大きく傾いた水平線です。穂先は右へ左へ。当然まっすぐになど歩けません。ここはあのマラッカ海峡。何の説明もなく、他の乗客の欧米人や中国人達を見ても、むりくり笑っている人、椅子に倒れこんでいる人、時折立っては海の遠くを不安げに眺めている人、皆なそれぞれに人生を考え直す辛い時間が過ぎていきます。思わず両脇の窓の上にくくりつけられているライフジャケットの数を数え乗客の数と照らし合わせるとだいたい3分の2くらいしか用意されていません。頭の中ではもし沈みだしたら椅子に上りライフジャケットを皆にとってあげる振りをしながら、真っ先に必ず自分のだけは確保しようと身構えていました。ただ、ライフジャケットを着たとしてもこんな大しけの中放り出されたらどないすんの…。女房を木切れにつかまらせておいて喜んで自分は沈んでいくのか？タイタニックのディカプリオかお前…。(実話、俺は一つで足りないからお前の分も俺にくれ、なんとか二つで生き

残るから、俺に渡せ、いいからあ) また、もし援助船が来てもこんなしけの中どうやって連結したりするの…とか。そもそも通信してんの…とか。乗務員(といってもTシャツ短パン)からはなんの説明もありません。ま、説明があっても分かったかどうか。あえて聞くのも恐いって感じ…です。マラッカ海峡ど真ん中に放置され、自分の人生を心から反省しつつそうこうし一時間程経った頃、今度はコトンとこれはまさか神の声では…というような音が聞こえました。コトン、コトン、ゴトンゴトン、エンジンは静かにローに入りセカンドサードトップに一気に上がっていきましました。そこからさらに4時間、相変わらず波にカウンターをあてながらの喧嘩腰走法。またいつ止まるか分からない不安を抱きながらも止まるよりはましと一つ一つ波をこじ開けていきます。スピード上げてひっくり返るも地獄、止まっちゃって放置されるも地獄。

…………嵐なら船出さんといてよ。整備は出発前にしといてよ。

ペナンの港に着いた時にはクリスチャンでもないのに胸で十字を切りました。

●長距離バス

ペナンからクアラルンプールへは5時間のバス移動です。行きに乗ったバスは80Rでした。帰りはそれより安いバスがあると分かって50Rのバスを見つけ切符を買い、同じだと思って乗りました。行きは乗客たった3人で二階建てソファ完備の応接室付きで快適きれいな、帰りは満席で変な匂いがする田舎のバスはおんぼろ車でした。ま、いっかと乗っていたら、そのバス、またまたやってくれます。普通に終わってはくれません。高速道路の真ん中でバスはヒュルヒュルヒュルと停車するではありませんか。どうしたのかなと思っていたら前の方で運転手と乗客がヒートアップし言い争っています。内容は分らなかったのですが、しばらくののしり合った後、後ろの方に座っていた私に向かっ

てプロレスラーのような運転手がドンドンと近寄ってくるではありませんか、もしや殴られるのかと思い一瞬ひるみ目を合わさないようにしていましたが、横を通り過ぎ一番後ろのカーテンをぱっと開けヘルメットを取り出し、前に戻り運転席の上の棚から自分のリュックを取り出して扉をバーンと閉め、一人だけ降りちゃうじゃあ、あーりませんか。高速道路の真ん中で乗客を放り出し運転放棄です。乗客は皆な子羊ちゃん状態、何が起こったか分からず怯えています。そのヘルメットは多分運転手が家からバスまでバイクで往復する時に使っているものでしょう。窓から覗いたらその運転手は外でおもむろに煙草を一服し始めました。その横をそのバスが邪魔だとクラクションを鳴らし他の車がビュンビュン追い抜いて行く高速道路まっただ中の道路上です。運転手プロレスラーはやっと我に返り自ら途方に暮れたのでしょうか。打つ手はなさそうです。さっきの勢いはどこへやら目も虚ろ、今度は運転手が放置状態です。その様子を見ていたマレーシア人が3人降りて行って、一緒に煙草を吸い運転手をなだめ始めました。15分くらいしてその慰め役の男達がバスに戻ってきて、一番前に座って言い争っていた欧米老夫婦に人指し指を一本口に立て、もう何もいうなと合図しています。まだ外にいる運転手を見ると、ゆっくりとさらにもう一本煙草をくゆらせた後、乗客を待つだけ待たせやっとなんか戻ってきました。そして、棚に自分の荷物を入れると、取り出した時と同じようにバーンと扉を閉め、運転再開です。ヒートアップしてめっちゃめっちゃスピードなど出されるのかと恐怖におののきましたが、そこは安バス自体のパフォーマンスが低いのか、どんどん追い抜かされていくいつもの速度でした。途中でトイレ休憩があり、トイレでその一番前に座っていた欧米人をつかまえ、どうしたのと聞くと、運転手は耳にイヤホンをつけ音楽を聞き、右手はハンドル左手

はスマホを握ってゲームしていたらしいんです。それを一番前に座っていた欧米の奥さんがとがめたら、ふざけんなになり今度はその旦那さんが相手になったらしいんです。

あーー、怖わ楽しかったあーん。
マレーシア最高!!!



マレーシア最高!!!

初めてのハワイロングステイ

関東甲信越支部 No.1769 山本 源次郎

平成28年6月1日～28日の約ひと月ハワイステイを経験してきました。以下その生活ぶりや、ハワイの情報をお知らせします。

ハワイステイに先立ち出発の準備をしました。まず航空券の手配、インターネットで検索し安売り航空券往復75,000円 2月10日ゲットしました。私の泊まったホテルはフェアウェイビラ 住所:2345 Ala Wai Blvd., Honolulu, Hawaii 96815と肥後さんの世話でアイランドコロニー(ワンルーム・スタンダード/基本人数:2名 最大人数:3名) 宿泊費(一泊平均\$94.57)その他いろいろ税金や経費が掛かるようです。

ESTA(電子渡航認証システム)のハワイは、申請が必要と言われ、事前にパソコンで済ませました。

成田をハワイ時間で夜中の2時過ぎに立ち、ハワイホノルル空港に朝の9時20分頃到着、税関のチェックを受け出たところで南の会の塩川支部長さんと待ち合わせ、一緒にタクシーに乗り\$45(目的地)に無事到着しました。

部屋に入り設備を点検、シングルベット2台、台所がワンルームの中に配置してあり、流し台、冷蔵庫、オーブン、戸棚の中は生活する器具(鍋、釜、ザル、炊飯器、食器)が配置していました。ほとんどの料理は間に合うと思います。丸テーブル椅子の一人掛けが3個配置、トイレ、洗面所は同じ場所、洗濯機と、乾燥機が配置してあり17階の部屋で、海が見え、海が見え

るほど高いと地元の(別の会の永く居る人)の感想です。ワイキキの浜辺までは歩いて15分位の所です。

塩川さんと一緒に、ハワイで何回乗ってもフリーパスの‘バスパスカード’(15ドル程)を買いに行きました。2番のバスで連結バスの一番後ろに乗り終点まで行きパスカードを買いました。一回乗ると現金だと\$2.5です。(往復\$5、三回でチャラです)



バスの路線でパールラインを乗るときは、前もってJCBのカードを用意してくるよう言われていたので、乗るときに提示したらフリーバスでした。

それから夕ご飯を一杯飲みながら南の会の塩川さん、肥後さん、山本雅美さん、小鷹さん夫婦と私含め6名でしました。一人頭24ドル位で料理が9品、ビール平均大ジョッキ1.5杯位でした。南の会や他の会との合同の時は、会費が決まっているか、すべて割り勘です。

その後、私が泊まったホテルから4～5分<Food Pantry>というスーパーマーケットに入り数日間の食料品を買いました。

合計で約103.33ドルで物価は日本より7割位高いかなーと感じました。



泊まったコンドミニウムで気がついた事は、Wi-Fiがなく私が持ってきたソニー製の携帯（ドコモ）をハワイのSIMに変えて使えるようにして、5ギガで\$約45でした。通信とインターネットは使える様に成ったのですが、Wi-Fiのデザリングが使えず近所のドコモに相談に行ったら、一日当たり2,700円で使い放題に、あまりにも高いので止めてポケットWi-Fiをリースで借りました。それでも一日当たり約1,000円で高いですね。

●今日は朝5時半に起きました。早速昨日買ってきた「ステーキ」と、日本から持ってきたインスタント味噌汁、買った卵、野菜、インスタントワカメのスープを食べました。

朝散歩に行きマンションを出てワイキキの街を通り抜けカラカウア通りに入りワイキキの海岸の前を歩きダイヤモンドヘッドを目指しました。来た道を戻り約2時間とても気持ちがいいです。

朝散歩していて解ったのですがホテル、ABCストア、バス停の前には日本人向けの、雑誌が（不動産購入雑誌、食事情報誌、雑貨用品誌）至る所に置いてあり旅行者向けの購買誌は無料です。

●今日は、朝足りない食品を朝6時に<Food Pantry>に買いに行きました。買ったのは、水戸納豆5個セット、箱入りの納豆1個、玉ねぎ2個、焼肉のたれ1本、ごはん3個セット、バナナ、だしの素、キュウリの九ちゃん漬け1個 合計\$30.04。箱入りの納豆はあまり美味しくなかったです。

南の会の塩川さんと、会の方11名でマイクロバスでゴルフに<Makaha Valles>行きました。海の近くにあり、とてもロケーションの良い所で、とっても楽しいゴルフでした。

●今日は、8番のバスに乗ってダイヤモンドヘッドに行きました。バス降りてから、約20分位で、ダイヤモンドヘッドの入口、\$1入場料を払い、南の会のみなさん6名と山頂目指してゆっくりと登頂し始めました。最初は緩やかでしたが、途中でトンネルをくぐり抜けた所から道が二本に分かれ一方の階段はとてもきついので、多少緩やかな坂道から、最後は階段で、私はこちらから上がりました。約25分かかりましたが、漸く山頂に上がりました。最後の階段はとても厳しく心臓破りの階段でした。



山を下りてからバス停近くで土曜日のみ市場が開かれていおり見学をしました。

8番のバスに乗りアラモナセンター、ウォールマートに買物に行きゴルフのピンを購入、帰ってから塩川さんの情報で、近くのABCマーケットで（YHeBus徹底活用バスガイド）を買いました。

DaBusを携帯にインストールし、近くの停留所を検索して、時刻表を確認、バスガイドを見ながら19番に乗りワード・ウェアハウス/ワード・センター行に乗り約30分で到着、日本の100円ショップ（[99セント]同じシステムのような）のお店に入りました。名前は、(MARUKAI) 会員制の販売所になっており、\$15払い会員になれば安く買えるようです。ここでは日本食がほとんどです。同じお店の中に100円ショップが同居していたのでおかめ納豆<極小粒>、CANE SUGAR 砂糖を\$5.23買いました。

●今日はドン・キホーテ（その前はダイエー）にバスに乗って買い物に行きました

が、降りる場所がわからなくなりバスの運転手に聞くと、5か所位通過したので戻りなさいと言われ、反対側のバス停で待っていたのですがなかなか来ないので、違うバス路線を探しに歩きました。そして20分歩き、バス停が見つかり、アラモナセンター行きのバスが来たので乗りました。センターは終点で、ほとんどのバス路線はアラモナセンターに経由するので一番わかりやすかったです。センターで降りドン・キホーテはアラモナセンターから10分位で歩けるので助かります。店に入り、店内を見渡すと日本の商品が充実していました。魚、肉、野菜、雑貨用品、私は肉、歯磨き、シャンプー、かつお節、クールボックス、日本のタオルを買いました。合計約35\$52でした。お店の中あるATMでお金を下しましたが日本語の案内がありとても便利でした。肉がとてもおいしいです。写真はドンキーの店内です。



●今日は、南の会のメンバーとゴルフに行きました。ゴルフ場の名前は（OLOMANA）です。夕食はゴルフに行った人たちと一緒に、店はワイキキの中心街にあり、最初に出た飲み物は、6種類のビールで飲みやすさ、香り、ニガサを競って自分の口に合ったビールを探すようなメニューです。そのほか5品位（タコの中からあげ、ピザ、その他いろいろ）を取って一人頭\$25でした。

●今日は、朝5時30分ワイキキの街を散歩しました。片道約一時間かけてアラモナセンター、ウォルマート、ドンキホーテを回って、アラモアナーチパークを回りハワイプリンスの前をとおり、前にあるヨットハーバー

を通り過ぎフォート、デ・ルーシー・ビーチを抜けて帰りました。こちらに来てからほとんど散歩に出ませんでしたので、2時間ちょっと掛かりましたが快適でした。町の中を覚え、自分の位置が確認できるようになりました。

●今日は、第7回南の会オープンが（Royal Kuniaカントリークラブ）で開催されました。9時スタートで2時頃終了。コンドミニアムに帰り一休みして、午後6時から表彰式兼サロン会が会場レストラン<サンライズ>で行われました。



各自で、飲み物持参という形で皆さんは、アロハシャツに長ズボンといういで立ちでした。ハワイの正装のようです。サロン会が行われたお店は、約2年前に新婚さんいらっしやいでロケになったお店だそうで、三枝のサインが表の入口に貼ってありました。南の会で、よく使っている店のようです。

塩川支部長の挨拶から始まり乾杯音頭が終わり、会食・歓談とうつり、南の会オープン成績発表が和やかな中、行われ中締め。このとき店のオーナーが、沖縄出身で沖縄の民謡を披露してくれました。とても美声でした。

●今日も朝から、私の住んでいるフェアウェイビラの前にあるゴルフ場の周りに散歩道が

有りましたので一周しました。9時から2時間歩きましたけど、本当に素晴らしい湿度と爽やかな風です。

塩川さん、肥後信彦さん、山本雅巳さん、私と4人で車を借りて、島一周をドライブに行きました。車を借りる手続は、英語の堪能な肥後さんが全部手続きをしてくれました。

私の勉強不足で、日本から持ってきた国際免許証があれば、現地で運転ができると思っていました。運転を楽しみにしていましたが、日本の運転免許がないと無免許運転と同じで車は借りられず運転できないということで山本雅美さん一人にお願いする事になりました。前にも運転をした経験があるようで、日本語のナビを借りドライブが始まりました。ほとんどが、海岸線、とてもビーチがきれいです。立ち寄ったのが、コーヒーがただで飲めるナッツ屋さん、カメが甲羅干しをしている海岸、< MATSUMOTO >と云うハワイ名物の、かき氷屋さん。



昼食は、名物のエビ料理（17 \$25位）でした。そのあと広大なパイナップル畑を見ながら、おみやげ屋さんによって名物のアイスクリームを食べ帰途しました。途中で借りた

ナビゲーションが壊れ、肥後さんの持っていた携帯でナビに切り替え音声付きで、正確に帰りの目的地まで案内してくれました。日本の携帯ナビはすごいですね。

●今日は塩川支部長と肥後さんの案で、私の泊まっている屋上で、本日5時30分から焼肉パーティーを行う事になりました。その為の順序として屋上の焼き肉が出来る場所は2か所しかありませんので確保しなければ成りません。午後の2時を回った頃、いいちこ1.8Lにお水を入れて、大きな買い物袋にも水や空瓶を入れて置いて来ました。5時に見に行ったら、外人が、私の荷物を傍に寄せており6人位が座っており、言葉も通じず愕然としました。すぐに塩川さんに来てもらい、運よく一か所が空きました。その後、全員が集まり無事に終わりました。何時も感じているのですが、パーティーをする時やゴルフに行くときには、必ず各自が飲み物、食べ物は持参のようです。もし私が、ハワイに一人で来たら何もできないでしょう、どこに行くにも英語圏です。確かに、日本語はかなり普及している様に見かけられますが、やはり南の会の支部長や、肥後さんたちの助力がありませんと一人での行動はままなりません。買い物はほとんど日本語でとうせました。ゴルフの好きな人、海の好きな人、スキューバダイビング、水泳、潜り、波乗り、時間つぶしには事欠かないでしょう。ほとんど朝晩、昼間クーラーは使いません。とても朝寝・昼寝が快適で気持ちいいです。

●本日は、引っ越し。フェアウェイビラからアイランドコロニーに転居。塩川支部長や肥後信彦さん達と一緒に部屋です。引っ越しが済んで、夕方皆さんでカウカウという雑誌を見て、リブソースの肉を食べに行きました。

●今日は散歩がてら、塩川さんのテニスを見学に行きました。約30分歩きテニス場に着きました。倉持・森川さん姉妹がテニスを始めたのを見学していました。とても上手です。塩川さ

んからテニスをやってみないかとお誘いがあり恐る恐るやってみました。塩川さんからおだてられて、調子に乗り始めてよかったのですが、地面にもんどりうって倒れ、腕の肘と、足の右膝輪を打撲、腰をひねって痛めました。帰ってからはしばらく寝ていましたが、痛みが止まらず、幸い保険に入っていたので病院に行くことにしました。アイランドコロニーから程近い所に、JCBカードセンターという大半便利な場所があり、そこに行きJCBのカードを見せ、中に入り病院の所在地や連絡の方法を教えてくださいました。すべて塩川さん肥後さんにお世話になり、事務的な手続きは肥後さんが、付き添いは塩川さんにしてもらいあり難かったです。近くに病院がありそこで診察を受け処置をしてもらいました。とても親切でした。それから快方に向かいました。

●今日はゴルフでした。ゴルフの費用は平均約\$100位です。昨日の一件があり、ゴルフは、散々でした。夕方5時に弓野さんと待ち合わせして、2番バスに乗りサンライズレストランに食事に行きました。夜のハワイの街情報を食事しながらマスターに聞きだしましたが、余りいい返事は貰えませんでした。たまたま、お客さんの中で、夜の街の詳しい人がお店に来店してきたので話を聞いて見ました。

この町の夜の街は、ぼったくられると言っていました。一般的な飲む単価は二時間で日本円3万円位、二人だと4万から5万円位が相場と話してく、その人たちは30万円もぼったくられた経験があると言っていました。少しでも酔ってくると法外な金額を取られると、だから紹介は出来ない。紹介するとこの店に来なくなってしまうという事です。

●今日はダイヤモンドヘッドのふもとまで、朝散歩に行きました。片道1時間

「カピオラニ・コミュニティ・カレッジ」のキャンパス内では、毎週土曜日に朝市が開かれます。「KCCファーマーズ・マーケット」と呼ばれるこの朝市には、新鮮な青果や焼きたての

パンなど、ハワイ産のものがズラリと並びます。

ナッツ、マンゴージャース、ホットドッグ(5\$)、を食べ飲みました。

帰りに床屋に寄って来ました。チップ代入れて(20\$)上手くできました。日本の1000円ショップと同じようです。

今日は、散歩がてらに水族館に行ってきました。約30分ほとんどが熱帯魚みたいな水族館であり規模が大きなく、日本の水族館の方がとても良いです。帰りに、コーヒショップにより、コーヒを注文し飲みました。とても美味しかった。帰ってきてから昼食を取り、昼寝。4時に目が覚め、塩川さんと一緒に、バスに乗りホノルル美術館に行きました。第三日曜日は無料です。美術館に入ったのが遅くあまり見学ができませんでした。帰りにドンキーにより日本のおみやげに(ライオンコーヒ)を買いました。

●今日は、朝から塩川さんと、ダイヤモンドヘッドの麓にある、テニスコートに行きました。倉本、森川さん姉妹と合流、塩川さんや森川さんに、ラケットの持ち方やルールを簡単に教わりました。その後、馴れないながらダブルスで競技をしました。テニスは体をすごく動かす競技だと痛切に感じました。この競技場のテニスコートを借りる条件として、受付の壁にテニスコート番号分の時計が有り、コート毎に設定する待合用の椅子に番号が振って在り、その椅子を使って待っていれば、自分の番が来る、空いているコートに45分間設定すれば使用できます。そのコートが今使用中かわかり便利です。いずれも無料です。

●今日は、VIPツアー(町中何処でも配布)と言う本の案内で、カウアイ島、ハワイ島、マウイ島の日帰り自由旅行に予約に行きました。受付嬢の愛想が悪くとても不愛想で気分を悪くし、帰国するまでの中で、予約がとれる日がありませんでしたので、中止しました。

朝散歩がてら、動物園に行きました。入場料は14\$です。熱いせいか動物は表に出て

いません。アイランドタワーから、動物園までは歩いて30分位。帰りにアイスクリームを食べに寄りました。色々な種類のアイスクリームが量り売りです。美味しかったです。宿に帰り夕方まで昼寝です。

●今日はゴルフです。バニアン会と南の会合同ゴルフ大会（13回 Banyan Open）会費は160\$です。二次会の経費を含みます。

ワイケレゴルフ場 渡辺孝道・山本源次郎・弓野国男・北村肇さんと4人で回りました。中々ゴルフは上手く行きませんでした。

ゴルフが終わってから、会場を移しくサンライズという沖縄の日本料理に場所を移し、表彰式を行い、各自持ち込みの飲み物を飲み料理はお店からお魚料理が出ました。最後に鉄火まき握りが出て和気あいあいと終わりました。

●今日は、ワイキキの浜辺で泳ぎました。私は右足に持病があり、水に入り冷やすと神経痛が出て、びっこを引くことが多くなるのが怖くて、30分位海に入り確かめましたが、やはり怖くすぐに出ました。海を上がってから、昼寝をしました。とても気持ちがいいです。夕食に＜田中オフ東京＞と言う老舗鉄板焼きレストランに弓野さんと行きました。中々のショウ的な要素があり、ローストビーフとロブスターをビール、いいちこ焼酎で召し上がり、とても楽しみました。会計は\$117.22 その後、海岸で金曜日の夜は花火が有ると言うので見に行き、期待しましたが、5分で終わりあっけ無かったです。

●今日は朝から、4人で、ワイキキビーチに水泳に行きました。とても水がきれいで、魚の泳いでいるのが良く分かりました。そんなに海岸には思ったほど人は居ませんでした。30分程して海から上がり、しばらく甲羅干し、みんなは1時間程して上がりました。それから、ダウンタウンの中にある、中華料理の店に向かい、バスを降りてから市場を見て回り、魚や野菜が豊富にありました。見学の後中華料理を食べました。美味しかったです。

す。店の店員のサービスがいまいちでした。

●今日は、バニアン会南の会合同お別れバーベキュー大会があるという事で、塩川さん、肥後さんは、2時半ごろバニアン会のある会場へ場所取りに行き私は、弓野さんと4時40分バス停で待ち合わせ会場に向かいました。バスで3駅先のバニヤンで降りました。会場には50人位が集まっており、会長の挨拶から始まって、バーベキューが始まりました。肉が美味しかったです。2時間位歓談して、ウクレレ有志の人たちと全員一緒に歌いました、歌が終わり、全員が輪になってお別れの歌を歌いました。また来年も宜しくと挨拶してお別れ会は終了しました。

●今日は塩川さんの要望で、（カツ）を買いながら、バスでアラモナセンターの中にある日本食堂の集まりのある＜白木屋＞にご飯を食べに行ってきました。開店3日目だったので中にスムーズには入れました。中は大変広く、寿司屋から、お好み焼き、串や、かつ丼ラーメン店等、ざっと見ても40～50店舗は有るように見えました。私はエビのおむすびを買いました。味の方はまあまあでした。皆さんは、アラモナセンターに来ると必ず寄ると言っていました。夕方から塩川さんと弓野さん三人でご飯を食べに行きました。ハワイは日本語が通じるレストランと日本語が通じないレストランがあるようです。日本人向けの本に出ている店は日本語が通じるようです。メニューを見て3人で肉を食べたいのですが中々日本語が通じませんので苦労しました。

●今回泊まった、コンドミニアムは自炊なので、一人者で普段から自炊ができる人はいいいですね、自宅の延長のようでした。ただ周辺には、スーパーや、7イレブンが結構ありました。日本酒は日本の倍以上しました。予算は、一か月で70万円位ですかね？（航空代・コンドミニアム代・食費代・小遣い）今回は、最初から最後まで、バスでおしとうしました。タクシーは空港の行き帰りだけでした。

南国写真サロン



台中振英会館での会員サロン会
No.670 今野 力男氏



世界遺産那智の滝
No.1388 寺田 和義氏



ハリファタワーからのドバイ中心地
No.1575 吉田 博氏



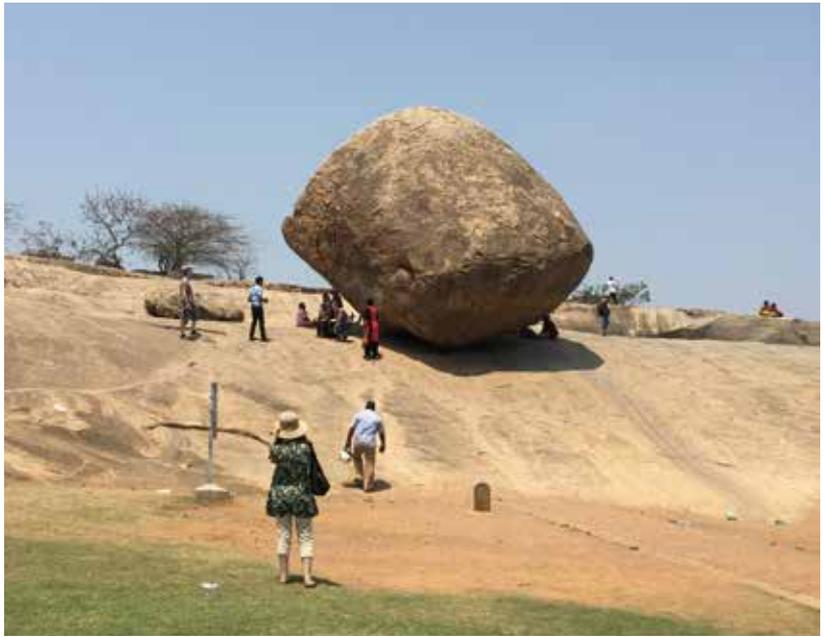
世界遺産タージ・マハル
No.996 歌田 晃一氏



山の学校 (ダバオ)
No.1612 堀江 健夫氏



ラーマ9世とリキッド王妃の記念パゴダ (チェンマイ)
No.900 島林 健二氏



インド クリシュナのバターボール
No.1431 兼森 省治氏



砂漠に咲くエンドウ
(豪州モンキーマイヤーシテイ郊外)
No.1225 高橋真二氏



ハワイオアフ島 ゴルフ場にて
No.1216 小鷹 益雄氏

セブでの英語研修

関東甲信越支部 No.1792 宮西 英二

1. 英語学習の動機

私は79才、現在独身、2016年4月から12週間フィリピン、セブ島、セブ市の英語学校で勉強してきました。その体験を報告いたしますが少しでも皆様にお役に立てれば幸いです。

私は1960年4月に重電メーカーに入社、海外で仕事をする機会がありました。1978年にマレーシアの水力発電所に出張し、帰りペナン島に2泊しペナン島が大好きになりました。その頃はロングステイが大人気でしたので、「ペナン・ロングステイ」と毎日言い続けていました。1997年に60才で定年退職、しかし妻の病気のため外国旅行、ロングステイの夢ははたせませんでした。妻が3年前に他界し私一人になりました。そのためロングステイの夢が甦りました。英語学校に入学すればクラスメート・ルームメートが沢山出来て楽しいと考えました。したがって英語学校入学の動機は一寸不純です。

2. 最近の海外渡航と英語学校入学

No.	期日	期間	都市	宿舎	学校	入学期間
1	16/11/2014 ~7/2/2015	83日	KL	Taragon Cond	ELC	3ヶ月
2	2/5/2015~ 31/7/2015	90日	KL	CHIWOOD COURT	ICLS	44日
3	30/8/2015~	24週	CEBU	学校	NILS	4週
4	13/2/2016		CEBU	学校	PREMIER	20週
5	3/4/2016~ 25/6/2016	12週	CEBU*	学校	PREMIER	12週

3. Premier English College

Premier のキャンパスはセブ市の Lahug (ラホグ) の地域に立地。開校から日が浅く規模も比較的小さく、宿舎と学校は併設されていました。宿舎は1、2、4人部屋があり、1回目は1人部屋、2回目は2人部屋(ただし1人だった)を利用。カフェテリア・空いている教室は生徒の自習のために開放されていたので、そこで生徒間の交流が良く行われた。若い方

が多かったので TOEIC などの為みんな良く勉強をしていた。また買物、食事、飲酒、観光、運動などにもみんな出かけ事が多かった。

食事は日本人向けの料理で、日本人のスタッフがあらかじめ食べて味付けなどを指導していたので美味しいと評判がよかった(平日:3食、土・日:ブランチと夕食、祭日:食事ナシ)。

洗濯:2回/週、部屋の掃除:1回/週のサービス付きで生徒の負担が軽減されていた。

留学ウェブダイレクト:

<http://www.ryugaku-webdirect.com>



Premier English College

4. 英語学校の比較

マレーシア (KL)、フィリピン (CEBU) を比較すると、物価はセブがいくらか安い。ただし SSPFee (学習許可) 6,800 ペソ、滞在ビザ延長費用*、航空機代 (KL は AIR ASIA を利用できるの安い)、海外旅行傷害保険 (KL: 不要、1 回目の CEBU 行きは約 10 万円) これらを加算と CEBU の方が断然高くなる。

1-1 のレッスンはフィリピンしかないのだからこれをどう評価するか。1-1 のレッスンは生徒の状況・要望に合わせて柔軟にカリキュラムを組めるので大変有効だと私は考えている。KL には 1-1 対応校が 1 校あるが費用がずばぬけて高かった。ICLS でも生徒の希望に対応できる時は実施していたがそれは例外である。

滞在ビザ延長費用*: (1~30日間: 不要、31日~8週間: 3730ペソ、12週間:

8930 ペソ、16 週間：9430 ペソ、20 週間：12460 ペソ、24 週間：12960 ペソ)

マレーシアはビザなしで3ヶ月滞在可能、しかも2回/年までOKである。

Premier は4週間 69,800 円～(授業料+滞在費)で最安値!?!と宣伝しており、私はこれを見て応募したが、他の人もそうであった Premier でもホテルに滞在しホテルに先生が出向くというコースもあり、退職後の比較的裕福な人が利用されていました。その際は学校に滞在する学生と交流する機会が大変少なくなるというデメリットがある。他の学校では成人向けに特化したコース・カリキュラムもあると思われる。

1 ペソ：2.3～2.9 円 (10・4・2016：2.3、30.6、2016：2.9、中値で換金手数料は

二人だけの卒園式



世話になった先生方と会食中央が筆者

5. 通信事情

Premier は生徒専用の Wi-Fi を設置していた。私は Skype、Line、Facebook などを使っていた。4 週間以上の生徒には学校から現地用の携帯電話を無償で貸し出したので、私はそれを利用しました。日本からの電話をそれで受信し、現地同志の通話・メールも安い費用で済みました。フィリピンでは Facebook が盛んで、私も Premier で使いはじめまだ

友人は約 70 名程度であるがここでお会いした先生・先生との交流に大変役立っている。

フィリピンの友達からは Viber を使えと云われたので今後活用したい。

6. 医療事情

Premier では身体の具合が悪い時は、医者に来て診察や投薬をしてくれた。また入院をした生徒も4～5人いたが病室はホテルのように立派だったと話していた。風邪・腹こわし・皮膚の湿疹などが主なトラブルで、特にアウトドアでの飲食物で腹をこわす人が多かった。

学校ではウォーターサーバーを設置しており、水道水は絶対に飲まないようにつとめた。外出時はその水を持参するか、ペットボトルの水を購入した。レストランではコーラ・ビールに氷を入れるが注文する時に氷抜きで頼むか、コップから氷を拾い上げて捨てている人もいた。また歯磨きに水道水を使わないという人までいた。

私は幸いトラブルがなく医者・薬には無縁であったので病院・医者を知るチャンスはなかった。ただし KL では歯が痛くなり、旅行サポート会社の人に同行してもらい歯医者に行き予約をとり、後は単独で4回その医者にかよった。歯医者の治療費は海外旅行傷害保険・クレジットカード医療保険などの対象外になっている。従って治療費は現金支払いになるから要注意である。その後私は帰国する度に歯医者で点検・治療をしている。歯医者の治療費は国民保険に請求し25%の還元を受けた(最大75%との事だが、私はお医者さんにボラレタと言うことか?学校に行った1日目で、色々調べる余裕がなかったので仕方がない)。

7. 道路と交通事情

歩道の整備が悪い。大きな段差があり、道の真ん中に穴が開いていたりする。予算が歩道にまで回らないのか?車道の渋滞もひどい。交通手段としてはジプニー・タクシー・バイク・バスなどがある。ジプニーは小型乗合バスで多くの路線を走っており、乗り降り

の場所も自由で、料金も7ペソと安い。ただし10ペソ払ってもお釣りが帰ってこない場合もあるので小銭はいつも用意しておきたい。

タクシーは初乗りは60ペソ位で安い。メーター付きのタクシーを選ぶ必要がある。今回帰国時、空港へ行くため途中でタクシーを拾った。空港まで現地人が見送ってくれたのですが、タクシーはメーター指示の150ペソにさらに100ペソを上乗せして支払を要求してきて同乗者とけんかしていた。このタクシー運転手は悪質ドライバーで我々を旅行者かどうか品定めしていて金を取れると判断したのであろう。貴方が1人でタクシーに乗ったら、どこかへ連れていかれて金を巻き上げられるかもしれないので絶対に1人で乗るなど注意された。前は学校から空港へ直接行くので、日本人経営のタクシー会社から配車して貰って問題はなかった（学校2:00AM発）。

バイクは便利である。2人位大人を後部座席に乗せて、渋滞時の車の前後左右を走り抜ける。私も車が渋滞している時、2人で後部座席の乗った事があるが暗い夜中はとても怖かった。

バスは2つの北・南バスステーションと郊外の市街地との間を運行している。

バス代は安い。モアルポアルという海岸へバスでかけた。バス代は100円台、行きは2時間、帰りは渋滞で3時間かかりその後は遠出を一切やめた。KLのバスはトイレがないのにトイレストップなしで3時間位走りつづけた。セブでは専用のトイレの前で止まってくれた。トイレの利用は有料だが、財布を持たずに行き、説明したら無料でOKとなった。KL、セブではトイレ有料のところがあるので要注意である。

8. 地元住民との交流

学校の前で、子供たちが多く夜遅くまで遊んでいた。子供たちは会うと「貴方の名前は」と聞いてくる。「サムライ」と答えて握手するとその手を彼らは自分のこうべにタッチさせる。まるで西洋映画でナイトが高貴な令嬢

にする仕草に似ているので不思議に思っていたら、これは目上の人に対し尊敬の念を示すマナーでありこのカルチャーだと友達から教えられた。KLでもモノレールに乗ると若い人がすぐに座席を譲ってくれ礼儀正しいなあと感心していた。

地域コミュニティーの連携が素晴らしい。決して裕福な暮らしと言えないが皆が助け合って生きているのが感じられた。ボランティアの人が来て地元の人が皆集まり道路でズンバダンスをやっていた。小さい子供がトラックの荷台の上でゴーゴーガールのように踊っていた。私は朝の散歩の帰りに通りかかったので30分位その踊りに参加したが大変楽しかった。

学校のカフェテリアで食事をしていると、「きょうか」「わたる」と門の外から生徒の名前を呼び遊びにでるのを催促してくる。私も10才の女の子と仲良しになり、教室でゲームの賞品に貰うキャンデーをその子にあげていた。その時の「Thank you」という言葉がとても良かった。道で時々大人や子供から「サムライ」と声を掛けられた。（このサムライはKLの宿舎で一緒だったカザフスタンの20歳位の若者が私に付けてくれたニックネームでその後愛用している。彼は日本のゲーム・アニメが大好きであった。セブでも私は相手の名前を忘れたのに先生・生徒ともサムライは良く覚えてくれて、大変有難いニックネームである。

9. 生徒の課外活動

- ①ジム・プール（ウォーターフロント・ホテル）本校の生徒は無料で使用可



アインドホッピングの課外活動

生徒は平日の朝、夜、休日に利用していた。

- ②スポーツ（近くの運動場・体育館でバスケットなど）
- ③ショッピング（アラヤ・セブSM・カントリーモール・カーボンマーケット・ロンマーケットなど）
- ④食事・コーヒー・お酒・カラオケ・映画・カジノ・ビリヤード
- ⑤島などの観光・刑務所囚人ダンス・ダイビング(安い値段でライセンスが取れる)

10. 使用言語

フィリピンでは沢山の言語が使われている(タガログ・ビザヤ他)。セブ地方の人はビザヤを使用している。小学校ではタガログ・英語が教育される。Premierの先生も先生同志ではビサヤ語を使用、facebookではビサヤ語と英語が使われている。ただし地方からできた家族はその地方の言葉を家庭で使うのでその人の事情により言語が変化する。

11. 信仰

Premierの近くのエジソン通りに有名な教会があり、日曜日などは多くの人々が家族連れでお参りに来ており、子供には良い精神修養現場だと思いました。私の学校の先生は熱心なカソリック信者で良く50分の授業時間の初めから終わりまで神を信じよと話をされた。彼女は平日に欠席したので昨日はどうしたのと聞いたら、教会にお祈りに行ったとの返事であった。大事なものは1番：God、2番：家族、3番：友達、4番：仕事(お金)とのことであった。

スペインから来た小さな聖人をまつているセントニーニョという寺院がある。セブの人はこの聖人を大変信仰しており、寺院はいつでも大変な人出でした。また1月17日にはシヌログ(Sinulog)というお祭りが行われセブの街をパレードした。近隣の島から大勢の参加者と見学者がきて大変な賑わいであった。セントニーニョの像を抱きかかえてパレードに参加する人が多かった。

また1月10日にはmassがあったが、皆が歌うセントニーニョを讃える歌に感動した。いかに皆がセントニーニョを信仰し愛しているかが良く解った。

12. エアポリュウシヨ

ジプニーなどは良い燃料を使っていないのか、真っ黒の排気ガスを振りまいて行く。年配の生徒の方で毎日街にでてジョキングをやっていたが、夜咳が止まらず2回くらい医者呼んだとの事。結局ジョキングは止めてジムに行くことにされた。街で口にハンケチを当てて歩いている人を見かけた。私はあまり気にならないのですが、セブ市は空気が悪いので他所に住む方が良いと先生から言われたことがある。

13. セブ在住日本人との交流

今回は英語研修に重点をおいていたので、セブ在住の日本人の方とお会いする機会を作れなかった。ただしシェアハウス「のどか」に宿泊もし、経営者の小泉さんには大変お世話になった。小泉さんから居酒屋神楽(Kagura)を教えていただき、帰国する時、そこで夕食をとった。沢山の日本人が来ており、絶好の交流場所になっているのが良く解った。今後ここで新しい日本の友達を見つけ出して行きたい。

14. 日本人向けの情報誌

セブ市では「Sakura」「cebpot」の2つのFREE情報誌が2ヶ月毎に発行されており、セブ・マクタン・セブ島の地図、レストラン、病院、観光、英語学校などの情報が大変役に立った。これらは日本関連のレストランなどに置いてあり、私はいつも「のどか」から戴いてきた。

NODOKA

<http://www.silver-life-nodoka.com/>

15. セブの治安

セブへ行くと言ったら皆からはそんな危ない所へ何故行くのと良く聞かれた。

建物の前には拳銃をもったガードマンが常時ガードしている。Premierも拳銃をもったガードマンが24時間ガードしていた。ショッ

ピングセンター・ホテルに入る時は身体検査とカバンの中身などチェックされた。荷物はリュックを使い、背中ではなく身体の前で持つように言われた。外出する時は高価な耳飾り、高価なスマートホンなどは持たないように言われた。街にいるストリートチルドレンにも気を付けるよう言われた。ジプニーの混んでいる時は危険なので特に気を付けた。2人の生徒がスマートホンを盗まれたが、幸い私は何も被害を受けなかった。またジプニーの中で若い女の人が首から下げていたスマートホンを取られそうになったのを目撃した生徒から聞いた事がある。彼等は若い男の3人組でジプニーから降りていったのである。私にとってマニラは不安で行きたくないが、セブは自分で十分に注意して行動すれば危険ではないと思います。

16.最後に

私は英語の勉強を第一と考え、夜、休日な

どあまり外出しませんでした。従い残念ながら私が街で見たてきた情報はあまりありません。先に紹介した居酒屋神楽のNAOKIさんはセブ在住20年で居酒屋日記にて豊富な情報を紹介されていますので是非参考にしてください。

Naoki の居酒屋日記

<http://kagura-cebu.jugem.jp>

また英語学校の選択には下記のHPなどが参考になると考えています。

フィリピン/セブの英語留学比較

www.ryugaku-cebu.com/

私の premier での友達2人がセブで会社を作り、日本の中年の方を対象に英語学校(セブ・マクタン・マンドラウエに3校)を来年初めにスタートするとの意気込みで現在活動しています。私は今後セブ島に住み英語・ビザや語を勉強して行きます。皆さんにお役に立てる機会があれば幸いです。情報発信の機会を頂きありがとうございました。

ダバオのグルメ事情

関東甲信越支部 (ダバオ LS 中) No.1125 佐々木 一信

2～3年のつもりでダバオに住んで5年経っちゃいました。フィリピン人の友人もでき、程々にまったりと暮らしています。

ゴルフや住宅事情などはダバオ訪問の方が書いていますので、今回は和食レストランを中心にレストラン事情をお知らせします。

ダバオ市内や近郊に和、洋、中、韓勿論フィリピン料理、最近はベトナム、メキシコ料理の店も出てきました。

私の住まいは、お世話になっている、JPVA (日本フィリピンボランティア協会) や日系人会、ミンダナオ国際大学 (MKD) の近くのベリサリオハイブサブディビジョンの中です。ラナン ダモサ地区はダバオ市内で最も日本人居住者が多い地域になってきました。そのせいで、和食レストランは7店あります。日系人会の近くには、4店並び日本式のスナッ

クもあり従業員はゆかたを着て日本語でサービス、カラオケは日本から運び日本の曲も沢山、音質も抜群だそうです。小さな店はいつも満席で盛況です。JP ローレル沿いには

- ・彩 (いろどり) ☆☆☆～ ランチタイムにはオカズを3品選んでライス、味噌汁がついてP198-もあります。

和食レストラン

ダモサ地区には 老舗

- ・只熊 ☆☆～ 私のお薦めは鉄火丼、パリパリ麺、雑炊
- ・やじろべえ JPVA グループ☆☆～ カレーライス、アジフライ、牛丼、豚丼、ラーメン
- ・銀閣 かつ丼、寿司 ☆～
- ・鴨 弁当 ☆☆ 串や☆☆～ 焼き鳥、各種定食

- ・桜坂 ☆☆～ ラーメン
- ・喜楽 ☆☆～ ラーメン、担々麺、お好み焼。定食



とんかつ弁当

これらは、店主は日本人で当地では仕入れ困難な食材や調味料など苦心しながら調理しています。

お店を探検して自分好みの店を探してください。銀閣、串や、桜坂、鴨、スナック姫等が有る所はさながらリトル東京です。



リトル東京の様相

その他、

- ・鶴 ☆☆☆～ アポビューホテルの近く。
- ・あきこ ☆☆☆ ビクトリアプラザ駐車場
ダバオで一番古い老舗 餃子、ハンバーグ、冷やし中華、定食
- ・満足 ☆☆☆ LTO の向かい
寿司、かつ丼 定食
- ・東京東京 SM ラナン、アヤラアブリーザ・すもう SM シティー

市内をタクシーやジプニーで走っていると、最近、和食レストランが増えているようです。マルコポーロホテルの近くに・心 という店がいつの間にかできていました。まだ入ったことは有りませんが、表に出ている看板を見ると、唐揚げ弁当など各種定食のよう



日本食屋あきこ

です。近々探検にいきます。

日本食財も充実してきました。ダモサの老舗
・富士マート コシヒカリなど日本の米
納豆、豆腐、油揚げ、漬物、サトイモ、おでん種、調味料、UCC コーヒー、長芋、ゴボウ

など豊富に揃っています。値段は日本からの輸入 ですから、日本の2倍から3倍になります。SM ラナンやロビンソン、ガイサノモールのスーパーにも日本食材コーナーがあります。



和食レストラン『花園』

洋食レストラン

スペインやアメリカの永い統治の影響でしょうか？味、質が充実しています。

- ・スイスデリ☆☆☆ ハム、ソーセージ、チーズ料理、トマトスープ 売店併設ダモサ地区。
- ・ベリトス ☆☆☆～SSS (社会保険事務所) 近く イカスミパエリア、牛タンシチュー、サラダ、バジルスパゲティ
- ・デボン手コエ☆☆☆～ リサールストリート シーフードパエリア
- ・タイニーキッチン☆☆☆～ トーレスス

- トリート パエリア パスタ
- ・ピコベロ ☆☆☆～ ダイバージョン
マアストリート近く ピザ、パスタ
 - ・トスカーナ ☆☆☆～ セントラルバンク
近く ピザ、パスタ、サラダのドレッシングは自分でオリーブオイルやビネガーなどで作ります。
 - ・クラウド☆☆☆☆～ リサールスト
リート フレンチ

中華料理

- ・アフアット☆☆☆☆～ ☆☆☆☆～ ビ
クトリアプラザ駐車場 海鮮中華 ホタ
テとほうれん草のスープはお薦めです。
- ・エメラルド☆☆☆☆～ビクトリアプラザ
駐車場

韓国料理

- ・ソウル家☆☆☆～ ビクトリアプラザ駐
車場
- ・マンナム ☆☆☆～ グランドリーガル
ホテルの近く チヂミ、海鮮

フィリピン料理

食文化を感じない料理が多かったのですが、最近、新しいスタイルのフィリピン料理レストランが出てきました。

- ・タベラ ☆☆☆☆☆～ トーレススト
リート 海鮮フィリピン料理 綺麗な

店内はいつも満席。上品な味付けで日本人にも公表

- ・カフェラグーナ ☆☆☆☆☆～ フィリ
ピン料理を美しく盛って出てきます。

その他、フィリピン人鉱物のチキ BBQno Penongs もいつも混んでいます。BBQ の店は至る所にあります。ソースは店によって異なり、自分好みの店を探してください。

最後に

フィリピン人の給料は P10000-前後だそうです。ダモサ付近にはトヨタのディーラーや高給と言われるコールセンターがあります。彼らの昼食を見ると、P10-のライスにP20～30-のおかずを買いサービススープでたべています。ここに書いたレストランにはとても行けません。月に一度、教会の帰りに家族でジョリビーに行くのが唯一の楽しみとよく聞きます。然しこれらの店もフィリピン人で混んでいます。貧富の差が大きいフィリピンですが、中東やアラブ首長国連邦などからの出稼ぎ資金なのか、確実に豊かな人は増えているようです。

(備考)

☆ 約P100- ☆☆ はP200- どんぶり、定食の目安です。P1=約¥2.6換算
来ダの方で連絡を頂ければ市内のレストランマップを作りましたので差し上げます。

熟男熟女・絶景巡りの旅

世界遺産国立公園巡り15日間4,150kmレンタカー夫婦二組の旅。

東海支部 No.543 清水 重一

旅友：山田善一 (No.570) 夫婦
清水重一 (No.543) 夫婦

旅程：2015年11月15日～12月11日
西海岸ラスベガスより右回りグランド
キャニオン～ページ～モアブ～ブライ
スキャニオン～セドナ～ザイオンナ
ショナルパーク。
ラスベガスミラージュホテル滞在 (11
月15日～11月24日)

街は砂漠の中とは思えない巨大で豪華なホテル群 (1棟が4,000室以上) が立ち並んで観光客を向かい入れています。ダウンタウンを9日間散策したが我々年金生活者には縁のない町でした。お金を使うとゆうよりお金を捨ててに行く街だと感じ、あっという間に9日間が過ぎました。

最大の目的である世界遺産絶景巡り感動・感動の15日間の旅をご報告いたします。



デリケートアーチ前

11月24日現地ラスベガスにてレンタカーを15日間契約、車両はSUV ジープ荷物を詰め込み夢のような光景を期待し一路グランドキャニオンへ

ラスベガスから280km ゲートで入園料30 \$ 支払い（7日間有効）数分車を走らせパーキングへ、絶景言葉が出ない

パワーポイントへ圧倒される時折雪がちらつく天候も寒さも感じないこの地区全部見るには7日間必要。



グランドキャニオン

我々は後ろ髪を引かれる思いで先に進む道中長い期間風雨にさらされ山の数々の奇岩、アーチ奇岩の絶景・絶景を見ながら次の目的地であるページへ、この街には11月25日、12月1～4日都合4泊した、理由は絶景・絶景の宝庫であり飽きない地区であった代表的な絶景レークパウエル湖広大な湖で観光リゾート地でもある。

また最大のこの地区の絶景巡り4日間はレークパウエル湖・ホースシューベント感動の旅であった。



ホースシューベント



デリケートアーチ

絶景でもあるデリケートアーチ（写真上参照）この場所にたどり着くには90分の道のり岩山を何度も何度も歩き休憩しながら、途中でしんどいため引き換えそうと悪夢が襲ってききましたが励ましあいながら夢中で何とかたどり着きました。このデリケートアーチに出会った瞬間、感動と何か達成感で胸が熱くなり言葉が出ない、しばし空白の時間を過ごし帰路に就くも我々老人組は軽装備で水も持たず、寒さ対策も考えず、ただ夢中で絶景を求め後で4名がぞっとした。!!

次にルート163号を北に向う途中、モニュウベントバレーを見てMoabの街に11月27～29日モーターに宿泊この地区は観光地であり見どころは無数何日いても飽きない、代表的なものは Arches Natlpark, Canyonlands. Natl park 絶景であったが名残惜しく次に向かうモアブ町から今度は西に向かい標高2377m雪の残雪が両側にあり慎重な運転に努め、おかげさんで対向車も少なく多々寂しん感じもあったが周りは雪景色これもまた絶景のドライブでMoabから210km、Bryce Canyon Park ここもまた絶景地区でありここから再度

南に向かい Page に向かいパワースポットで有名なセドナの街に向かい日付けは12月3日この町は超高級観光地でモーターも他と比べ3倍である、個々の絶景はベルロック（ハンドベルの形）、エアーポート・メサである。



セドナベルロック（ハンドベルの形）



ザイオン国立公園内氷河

再び左右に絶景を見ながらひたすら北に向かい Page の街にて1泊し最終目的約

100km先のZion NatlPakak 近くのモーターに12月5～6日滞在し絶景巡りをする。

これで14日間で11か所の国立公園巡り、1日早くラスベガスに帰り3日間静養に努め日本に帰国しました。

また、語学堪能な山田善一夫妻のおかげで有意義な1か月間を過ごすことができました。

概要費用以下4名分：

エアーチケット	458,000円
ホテル滞在費12日間：	430,000円
モーター滞在費14日間：	360,000円
レンタカーレンタル費14日間：	196,000円
	(ガス代含む)

食事・雑費・劇場ショー・国立公園入場料7地区・ギャンブル：含まず

* \$/円¥125（当時）換算

* 宿泊・モーター

- ：ミラージュリゾート&カジノ・11泊
- ：モテトルート66・1泊
- ：コンフォートイン・4泊
- ：クオリティイン・1泊
- ：ホテルモアブ・3泊
- ：デイズイン・1泊
- ：スターモテル・1泊
- ：ベストウェスタンラバキン・2泊
- ：ハラズホテル・1泊

単身赴任型の冬季ステイを続けて10年

関東甲信越支部 No.1075 三上 英司

1 序

団塊の世代で定年の2年前に退職し、平成18年に南国暮らしの会に入会してから「単身赴任型」の冬季ステイを続けて10年余。H18年からH23年まではマレーシアのキャメロンハイランドを中心に各地に滞在。H24年から現在まではタイのチェンマイが主な滞在地。ロングステイのノウハウや生活の一端を紹介します。

(金額は1パーツ = 3円で試算)

2 マレーシア

マレーシアでは、キャメロン、クアラルンプール、ペナン、イポー、さらにコタキナバルのラナウやケニンガウなど各地に滞在。親日国家で気候が年間を通じて温暖で英語も通じ物価も安いので、各種ロングステイ滞在地希望国のアンケートでマレーシアがほとんどトップであることは納得。キャメロン唯一のゴルフ場が大規模な改修工事を開始したので、H24年からタイのチェンマイへ。最新の情報は会報

2015年春季号63巻「マレーシア特集」など多数。治安は良いがイスラム教が国教なので、これから行く方は過激派のテロ対策も念頭に。



キャメロンハイランドの宿

3 チェンマイの魅力

タイ北部の古都チェンマイは、寺院や史跡等の観光名所やホテル、コンド、ゴルフ場も多数で、簡単な英語が通用し物価も安い。1、2月の気温は25～35度程度で雨もないので、日本や欧米などから多くのリピーターが冬季の避寒地として訪れる。ナイトバザール、サンデーマーケットや巨大な市場も多く、ショッピング好きな方には魅力的。特に北西部のニマンヘンミン地区やホイケオ通り周辺はまるで「日本人村」。多種多様な日本食材を揃える大規模なショッピングモールや大小のスーパーマーケット、各種レストランや日本語メニューも揃える寿司屋、ラーメン店、さらに日本語が通じる旅行代理店も多い。

4 ロングステイの準備

①情報収集、英会話

ロングステイを始める前から、書籍の購入や図書館の利用、さらに南国暮らし会やキャメロン会などに加入し、幅広く情報収集をしている。英会話は苦手なので、簡単な日常英会話の学習を今でも時々している。

②パソコン操作

パソコンは情報収集やメール交換、無料電話、写真の保存などロングステイ生活の必需品でノートブック型とタブレット型パソコンを持参。関東甲信越支部の

「パソコン同好会」において、会員の渡辺義郎さんからロングステイに必要なパソコン操作や最新の技術などの指導を受けることができ、大変感謝しています。

③航空券

航空券の金額は、同一の便でも滞在期間、購入日などで数万円も異なる。最近よく利用するのは格安航空のエアアジア航空。ネットで会員登録をし、キャンペーンを利用すると超格安で、1年前あるいは夏頃に予約したことも。各種サービスはないが特に問題はない。チェンマイ直行便はまだなく、成田または羽田発でバンコクあるいはKLで乗り換えとなる。滞在中や帰国途中にベトナム、カンボジア、インドネシア、マレーシアなどの観光旅行をしたが、海外で予約するとかなり安い。

④滞在期間

ビザなしで滞在できるのは、マレーシアは60日以内、タイは30日以内。タイに60日間滞在するためには日本で観光ビザを取得、または出入国管理事務所で滞在期間の延長、さらに飛行機で数泊の海外旅行、バスで一時的に出国する方法もある。旅行代理店を通じてのバスツアーは簡便で何度も利用。観光ビザの取得手続きは、居住する都道府県によって違うので、旅行代理店等への照会をお勧め。なお滞在期限の超過は罰金となるので特に注意を。

⑤海外旅行保険、医療

海外旅行保険には特に加入せず、年会費無料のクレジットカード（オリコUPTYカード）を利用。死亡給付2000万円、救援者保障200万円、疾病治療200万円など。通院や物損を数回経験したが、簡単な手続きで自己負担はなし。留意するのは、既往症のある病気に関しては使えずに実費になること。医療費は総じて安く、日本人や日本語通訳を揃え

ている大病院も多いので心強いが、健康面の留意は最も大事。なお会報の「お役たち情報」に時々紹介される「海外旅行保険とクレジットカード」の記事はとても有益。

⑥衣類等

室内気温は概ね30℃程度、屋外でも35℃程度なので、服装はほとんど半袖シャツに短パン。朝夕に涼しい日もあるので長袖、長ズボン、薄手のカーデガン等は必要だが、スーツ、革靴などは不要。外国人の多くはカジュアルな服装が圧倒的。衣類は豊富で日本の半値以下で購入でき、洗濯はコイン式洗濯機もあるがシャワーの際に手洗いでほとんど済ませる。

5 ロングステイの費用

- ロングステイの費用は、往復の飛行機代、住居費、ゴルフ等の趣味、飲酒代、夫婦同伴か単身かで大きく異なる。特に住居費は滞在地域、交通の便などの立地条件、さらに広さや契約期間などでも違う。私の場合、チェンマイに概ね2か月間の滞在で、格安航空、相場より安いコンド、週1～2回のゴルフ、晩酌なども含めて概ね30万円。今年は2か月間で約26万円。生活費は月額約8万円でそれに往復飛行機代6万円とマレーシアの観光旅行代4万円なり。生活費の内訳は住居費2万円、食費1.5万円、ゴルフ1.5万円、交際費1万円、その他2万円程度かな。
- ゴルフは格安のコースを利用しプレイ代、キャディーチップ、交通費等を含めて2千円程度。卓球は陸上競技場内の小体育館で1回100円以下。低料金でプロコーチから指導を受けられるので初心者の利用も多い。マッサージは1時間で600円程度。日本へのお土産として生マンゴーとドライマンゴーは廉価ながら大好評。支払いはほとんど現金で、両替は銀行より一般の両替店がかなり有利。物価上昇が数年続

いているが、ほとんどの物価は日本の半分以下で、かなり優雅な生活を実感している。

6 現地での生活

①ホテル、コンド

現在の契約しているコンドは、ワンルーム、約40m²程度でバスタブ付きTV、冷蔵庫、電子レンジ、WiFiフリー光熱水費等込で月額2万円以下と相場よりかなり安い。チェックアウトの際に次年分を予約し、自転車、ゴルフ用具、衣類、食器、台所用品などほとんどを低料金で保管。コンド料金は月単位が一般的で1～2週間でも1か月分と同じ。初めて滞在する方には、食事付のホテルをお勧め。近くの「オーキッドホテル」や「フラマホテル」は日本人の利用が多い。1,2月はロングステイのピークで、特に中国の春節（旧正月）から約1週間はホテルの空きは極めて少なく、春節は毎年異なるので要注意。

②食事

チェンマイ滞在の当初は外食がメインであったが、電子レンジを活用し簡単な自炊が次第に増えている。大きな市場がコンド近くにあり、野菜、果物、肉、魚、調味料など何でもあり、特に調理済みの惣菜類は多種多様。60円程度のテイクアウト用の惣菜を冷蔵庫に常備し、ご飯も冷凍保存。大型ショッピングモールに日本の食品類は無数にあるが、定価が割高なので、焼酎、日本酒、納豆、即席ラーメン、チーズ、酒のつまみ類、調味料などは日本から持参。寿司店、ラーメン店など日本食の専門店や中華、洋食などのレストランも多く、値段はほとんど日本の半分以下。最もお気に入りのは400円程度の寿司定食で、昼食は大瓶ビールにチャーハンで300円程度で済むことも。なお飲料水はコンドの浄水器を利用すると超格安。

③毎日の生活

毎日の生活はスポーツが中心で、ゴル

フ、テニス、卓球をほぼ週2回で、夜はカラオケやパソコン、TVで日本のニュースや相撲放送なども。最近コンド近くに開店したカラオケ店は日本の曲や日本食メニューも多いので大変貴重な存在。そのほか健康麻雀や食事会、温泉巡りなど各種イベントもあり、予定表は日本に居ると同様いつもギッシリ。日本語の新聞は近くのホテルで見ることができ、無料の日本語情報誌「チャオ」の地図は必需品。



チェンマイのテニス仲間と



チェンマイ温泉にて

④交通手段など

乗り合いバス（ソンテウ）は旧市内がほぼ60円程度で極めて安価。ゴルフ場へはソンテを借り上げ、10人で利用して一人300円程度で済むことも多い。自転車を最も愛用し、買い物やゴルフ練習、テニス、卓球の際などにも利用。だが、樹木や屋台などの各種障害物や道路の段差も多いのでかなり注意を要する。自転車を利用するのは現地人でなく観光客が多い。バイクの利用が圧倒的に多く、3人乗りや中、高校生はごく普通。レン

タルバイクや乗用車を利用する日本人を見かけるが、日本の交通常識は通用しない故、利用する気にはならない。

⑤携帯電話、スマホなど

携帯電話はロングステイの必需品だが、日本で使用している携帯電話機を海外で使用すると、電話料金はかなり高くなる。海外用としてシムフリータイプの携帯電話器を購入したので、料金は日本への通話料金も含め極めて低額。翌年も同一の電話番号を使えることは便利で、「true move」社を選び少額の追加料金で済んでいるなお、ガラ携電話とほぼ同料金で利用できる「格安スマホ」を昨年入手し、持参したがあまり活用できず。スマホは地図、カメラ、翻訳機能など旅先では特に重宝。使用方法が不慣れで、帰国後に膨大な料金を請求された知人もいる。

⑥現地での付き合い

ゴルフ、テニス、卓球、食事会などを通じて知り合いとなることが多い。共通の話題は飛行機代、コンド情報、飲食店、ゴルフ、買い物先など経費に関することが多く、情報交換を通じて経費削減やより有意義なロングステイが可能となる。コンドや買い物、乗り物、さらにスポーツなどでタイ人を含め外国人と接する機会は多く、またチェンマイ大学や日本研究センターのイベント、少数民族の児童収容施設への慰問も体験した。外国人との交流を通じて、日本の食事や観光、文化などを見直す機会が増えてきた。なお、電話番号やメールアドレスを交換する機会もあるので、ネームカードは必需品。

7 長く続いてきた秘訣

①家族や周囲の反応

退職前に夫婦で「退職後のセカンドライフ」について何度か話し合い、「お互いにやりたいことをしよう」と合意し、「亭主、元気で留守がいい」に妻も賛同

し単身赴任型の冬季ステイをすることに。長く続いている秘訣は、夫婦ともに健康で、老親の介護の心配がなかったこと、さらに58歳という年齢で早くから始めたことかな。買い物、食事の準備に片付け、掃除、洗濯など自活力が身についたと自認。子供2人が独立しているので、「兼業主夫、育爺（いくじい）」を自称し、特に冬季ステイの前後の12月や4月は趣味の活動より育爺を優先。テニス、バードゴルフ、卓球、パソコンクラブなど趣味のサークルや元の職場、友人などでロングステイの経験者は皆無。東南アジアの物価が日本の1/3程度であることなどを知らず、「悠々自適で結構な身分」など羨望の眼差しで見られることが圧倒的に多い。

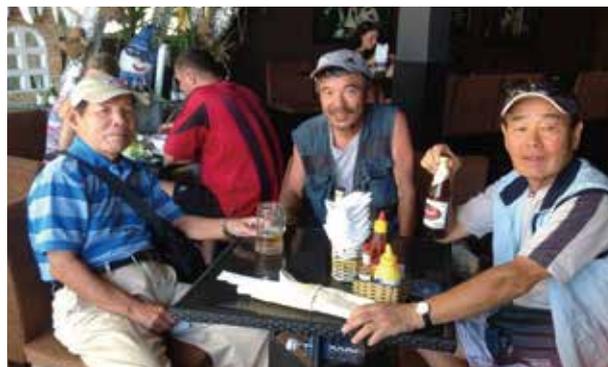
② ロングステイの同行者

ロングステイの同行者として夫婦同伴は圧倒的に多く全体の約6割と言われている。夫婦同伴は理想的だが、実現できるのはセカンドライフの考えなどが一致し、夫婦の健康状態や親の介護などの課題をクリアできた場合であろう。ホテル滞在によって食事の準備や家事から解放されたい奥様方は多いようだ。だが、東南アジアの生活に馴染めず、同行したが長続きしないケースも多く、男の単身者は全体の2～3割程度。私の場合は単身赴任型の同行者に恵まれ、ゴルフ、カラオケ、麻雀などの趣味は共通だが生活スタイルなどは別々で、キャメロンで3人の共同生活を始めてから今でも情報交換などを続けている。

③ 滞在記録など

○ 滞在記録

滞在記録を作成すると、後で役立つことが多い。特に様々な機会で見合わせた方や、レストラン名などは覚えきれず、後悔することがしばし



同行者と

ば。A 5程度ノートの1ページを2日分に分け、主な出来事や固有名詞、購入物品、食事などをまとめ、下段には金銭収支を記載。また一日分を1行にまとめた金銭収支や活動などの集計表が便利。氏名、電話番号、滞在先、知り合った関係などを記載した人名リストも重宝。さらに、レストランやマッサージ店、ゴルフ場、ホテルやコンド、おもな観光地などのリストも役に立っている。

○ 物品リスト

滞在中に使用する物品は多種多様で、その都度持参すると移動の際に不便なので、できるだけ保管している。当初はゴルフバックだけであったが、次第に増えて現在ではほとんどの物品を保管。そこで衣類、事務用品、電気製品、運動用具、台所用品や調味料などに区分し、持参数量、保管数量や次回の持参数量などを記載した物品リストを作成している。

○ 備忘録

家族等の氏名、電話番号、メールアドレス、さらに予約フライト、持参カード類、海外旅行保険の番号や連絡先、各種パスワードなど重要事項をまとめた備忘録は不可欠で、留守宅にも必要。

8 その他

○ パスポートに関わる失敗を3度経験。①羽田空港に向かう電車の網棚にパスポートを

忘れ、出発便をキャンセル。帰宅後に連絡があり、航空券を再度購入して後日出発。②パスポートの「残存有効期間6か月以内に到着」を失念し、ようやくチェンマイに入国。到着翌日に日本領事館で更新手続きを。③滞在期限当日の午前中に、チェンマイ出入国管理事務所へ延長手続きに行ったが、受付の予定人員超過のため申請受理されず。翌日再度の手続きし事情を説明したが滞在期限超過で罰金対象となり、その旨をパスポートに記載される。

○会報は海外滞在の様々な情報の宝庫で活

用の価値は高く、ネットで電子版を見ることがもできる。だが寄稿する方は少なく、私も編集担当者から何度も依頼されて承諾した次第。だが、執筆すると資料や記憶の整理、自分史の一部にもなり、後日、自分の財産となるのは確実。有意義で充実したステイをするためには、多くの会員と知り合い幅広く情報収集することが必要で、寄稿や会の会合などに参加し業務のサポートすることが秘訣。

○マレーシアの滞在記は会報2008年41号及び2009年44号に寄稿しました。

台湾のLS環境と現地交流記

関西支部 No.591 神原 克收

台湾とのご縁は2009年にS会員のお誘いステイに参加したことから始まり、以来今日までお誘いステイを呼び掛けて毎年100名弱の方をお連れし現地の方々との交流をしてきました。最近はお誘いステイの呼び掛けに応じる人が少なくなり、一方では独自に行かれる方が増えているため、お誘いステイの役目は終わったと考えています。

とは言え、新しい会員も増えているのでこれから台湾ステイをお考えの方のご参考になればと思い、思いつくまま台湾との交流について述べてみたいと思います。なお、取り上げる地区は今まで繰り返しステイしてきた新竹、台中、高雄に限定していますのでご了承下さい。※価格は2016年6月現在、レートは1台湾ドル(元) = 3.2円で計算、価格表示は税込。

★台湾ロングステイ事情全般について

◆超親日的

親日度を言葉で表現することは難しいが、世界で飛び抜けて一番の親日国であることに間違いはない。何故そうなったかについて詳しくは別の機会に譲りますが、大きくは2つの要因が考えられる。

一つは1895年から50年間日本が統治し



日本家屋の修復、保全が進む

た時代の治世。欧米列国の植民地政策とは異なり、搾取することよりも台湾の民力向上に心血を注いだ結果である。特に道路、鉄道、電気、水道、ダム等々のインフラ整備は今日に至るも活用されているものも多くあり、今日の台湾繁栄の礎となった。また、教育制度を整備したことも台湾発展に大きく貢献した。年配の方々からは「日本統治時代の日本には大変感謝している」という言葉を何人ものの方々からお聞きした。

最近では日本統治時代の建物を復元・保存が進められ、台湾の貴重な観光資源となっている。

もう一つは日本の「文化力」。音楽、漫画、アニメ、ファッション、化粧品、料理、スイーツ、デザイン等々台湾には日本文化が溢れている。これら日本文化が若者を中心に支持さ

れていることが親日度アップに大きく貢献していることは間違いがない。

◆無茶苦茶に親切

兎に角親切である。幾つか例を挙げてみたい。①バスや電車に乗ったら必ず席を譲ってくれる。②街中で地図を広げて行き先を調べていると誰かが寄ってきて助けてくれる。③レストランで注文するとき言葉が通じず困っていると日本語の出来る客が助けてくれることが多い。④道を尋ねると口での説明だけでなく、わざわざ案内してくれることも多い。⑤山間の村でバス停を尋ねたら、バイクでバス停まで送ってくれた。⑥警察で道を尋ねたら「判り難いから」と言ってパトカーで送ってくれた。⑦長期滞在していると現地の方が事あるごとに観光や食事に誘ってくれる。⑧旧正月は殆どの店が閉まるが、その間の食材はコンドのオーナーがあり余るほど用意してくれる。等々枚挙に暇がない。

◆宿

新竹・台中・高雄ともコンドミニウムで3ヶ所とも冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、食器類、シャワー、無料wifiは付いている。台中・高雄はバスタブ、新竹・台中はウオシュレットもついている。どのコンドも手ぶらで行っても即生活出来る。

◆食事

台湾はもともと外食文化のため、食事場所は高級店から屋台まで実に多彩で、コンドから徒歩圏内に沢山の店がある。味はどのクラスでもそんなに変わらない。台湾料理は総じて薄味・油控えめで日本人の口に合う。台湾料理そのものが幅広く選択肢は多いが、それ以外にも関東料理、四川料理、香港料理、客家料理等々の中華料理に加え、日本料理、イタリアンはじめ西欧料理、アジア料理など実に多彩で、長期滞在しても食事に困る心配は殆どない。勿論市場で食材を買って部屋で自炊することも可能で、日本の食材もたいていのものは現地で調達出来る。



食事の選択肢は多い

◆果物の宝庫

台湾の楽しみの一つは果物である。日本にはない釈迦頭、ライチー、棗子、蓮霧、グアバ、ジャックフルーツ、ドリアンなど楽しみは絶えない。日本では高嶺の花のマンゴーも安く美味しいので旬の時期は血糖値が気になるくらい毎日味わっている。旬のものは完熟していてどれも全て美味しい。旬のライチーは日本では絶対に味わえない美味しさで、スイカ、オレンジ、バナナ、パイナップルなど、どれをとっても期待を裏切らない。中でも5～8月は最も豊富で美味しい季節である。

◆交通費は安い

台湾の交通費は驚くほど安い。以下日本との大雑把な比較をしてみよう。市内バス・タクシー・長距離バス・列車は日本の3分の1程度、新幹線・地下鉄は2分の1くらいの感覚か。市内バスは台中は10kmまでは無料、新竹・高雄は部分的に無料。有料でも60-70円くらいで日本より遥かに安い。また長距離バスや市内バス・フェリーは元々安い上に65歳以上は外国人でも半額となるのも嬉しい。

台湾全土で使える「悠遊カード」(日本のイコカのようなもの)が大変便利で、コンビニなどで購入出来る。(無料バスはこのカードがないと無料にはならない)

◆運転マナーは悪い

勿論台湾とて良いこと尽くめではない。車の運転マナーはまだまだ発展途上国である。洪水の如く多いバイクのマナーの悪さは目を覆いたくなる。台湾では交差点は青信号でも

決して安心してはならない。私自身随分気を付けているが、それでも青信号の交差点を地図を見ながら横断していてバイクにはねられた経験がある。幸い軽い打撲で終わったが運転マナーの悪さを実感した。

◆その他 買い物・治安・医療・言葉など

- ①買い物は地元の市場（キレイではないが安い）、スーパー（大型店が多い）、コンビニ（密集度は日本以上）などがあり大変便利。
- ②治安は日本以上に良い。財布を落としたり忘れてたりしても大半は返ってくる。
- ③医療設備は日本と遜色ない。言葉は宿泊先の人で連れて行ってくれ、通訳もしてくれる。
- ④言葉は日本語の出来る人は結構いる。若い人はどちらかと言うと英語の方が得意。でも漢字文化なので筆談で最低限のことは通じる。最近はスマホの翻訳機能が活躍でこれさえあれば困ることはない。

★銀髪族協会(Taiwan Association of Retired Person:以下TARP)

台湾でのロングステイでは銀髪族協会の方々に大変お世話になっている。この会は台湾各地にあり、それを束ねる連合会が台北にある。TARP との関係は4年前大阪で実施されたロングステイ関連の会合にTARPの各地理事長・幹事長16名が参加したことからはじまった。爾来関係強化を続け今では台湾ロングステイにはなくてはならない存在である。

入会資格は50歳以上で主たる目的は会員相互の親睦とボランティア活動。年会費は3,000円程度と安い。会員の中には結構金持ちもいて寄付が多く、南の会と違って実に裕福な会である。全国の会員数は8,000人でそのうち新竹が最多で2,700人いる。

ロングステイ中はTARPの会員との交流、その会員のコネでライオンズクラブや大学、地元の方々との交流も盛んに行っている。TARPに特にお世話になっているのは新竹、次いで高雄。台中はTARPの組織力が弱く我々との交流は少ない。

★新竹について

宿泊先：東星駿業 場所：北新竹駅前

部屋：ワンルーム

値段：21,000円/月(≒67,000円) + 光熱費

- ①新竹は狭い街なので、主要なところは全て徒歩で行ける。また台北まではコンド近くのバス停からバスが頻繁に出ている(所要時間1時間)。台北観光は日帰りでも十分楽しめる。
- ②コンドの部屋にはキッチンはないが、1階に共同利用出来るキッチンと集会にも利用出来る広いダイニングがある。ロングステイしている日本人がそこに集まり食事会や会合をしていると、銀髪族協会のメンバーからお菓子や果物など様々な差入れがくる。
- ③滞在中はTARPの行事が週1回くらいはあり、いつもそれに参加させてもらっている。それ以外にコンドの林オーナーやTARPメンバーが様々な行事に誘って下さるので、結構忙しい。



TARP会員とお花見

- ④ゴルフをする人はTARPメンバーでゴルフ好きの人がおられ、その人のホームコースで車の送り迎え付きでお世話になっている。
- ⑤TARP会員にはお世話になることが圧倒的に多いので、たまには日本人が日本食を作って、彼等に振る舞う。しかし彼等はそれ以上に台湾料理を持ち込んできて、いつも沢山余り、後日我々が頂くことになる。今まで作ったのはバラ寿司、巻き寿司、手巻き寿司、いなり寿司、ソーメン、カレー、お好み焼き、

タコ焼きなどで、中でもバラ寿司とカレー、お好み焼きは人気上々である。

- ⑥抹茶を点でて振る舞ったこともある。味は判らないと思うが、興味本位で結構喜んでくれる。
- ⑦日本のもので意外と人気があるのは折り紙。台中や高雄でもやったがどこでも人気は上々で、今後も続けて行きたいと思っている。お返しに台湾の方から台湾小物の作り方を教えて頂いたこともある。
- ⑧ TARP のメンバーはカラオケ大好き人間が揃っていてバス旅行の時などはバスが出発するや否やカラオケが始まる。それも日本の演歌を日本語で歌うのが人気で、我々が知らない演歌を朗々と歌いあげる。聞くとあちこちにカラオケグループがあり、毎週日本から新曲の CD を取り寄せて練習しているとのこと。2つのカラオケグループを見学に行ったが、参加者の熱心さには感心するばかり。カラオケ合戦ではいつも我々日本人の完敗である。

★台中について

宿泊先：振英会館 場所：台中市北屯区
値段：31,500 元 / 月 (≒ 101,000 円) + 光熱費
(6～9 月は 30% 引き)

部屋：1 LDK

- ①振英会館は素晴らしいコンドミニアムで、台湾でのロングステイの草分け的存在である。台中ステイの最大の魅力は振英会館である。部屋にはキッチン、十分過ぎるほどの収納スペース、台所用品一式、洗濯機・乾燥機・バスタブ・シャワー室・ウオッシュレット等が完備して入居即生活が可能である。
- ②居室の素晴らしさだけでなく、共有スペースが各フロアにあり、満足度は非常に高い。共有スペースは集会サロン、ジム、ビリヤード、エアロビクス室等があり、屋上階には囲碁、将棋、麻雀設備、日本語書籍や料理教室の出来る部屋もある。さらにはバー

ベキュー設備、物干し場も用意されている。1階にはカラオケも可能な音楽ホールや、生ゴミ用の冷凍庫を備え全く臭いのしないゴミ捨て室も完備している。

- ③設備以上に素晴らしいのが従業員のホスピタリティだ。若い従業員が一生懸命入居者のサポートをしてくれる。新しい社員が多いので以前よりレベルは落ちているが、それでも依頼事項に対する対応は素早く、その対応内容は総じてこちらの期待を裏切らない。日本語が出来るスタッフも 3 人いて誠に心強い。
- ④団体で滞在した場合は週 2 回のバス旅行、週 1 回の太極拳講座、週 1 回の中国語講座など破格のサービスが提供される。個人で行く場合は滞在中 1 回の日帰り旅行がプレゼントされる。(このサービスはプロモーションとして提供されているので、いつまで続くかは要確認)
- ⑤コンド周辺には大型スーパー (カルフル)、地元の伝統市場、小型スーパー、美味しいパン屋、コンビニ等が徒歩圏内にある。食事場所も安い一般食堂からやや高いレストランまで徒歩圏内に数十軒はあり、料理の種類、価格ともに選択肢は極めて多く、全面外食でも困ることはない。飲食店の所在場所を示した地図を振英会館が用意してくれていて、とても便利。
- ⑥台中市内の移動はバスが縦横に走っていて大変便利。しかも無料なのでこれほど使い勝手の良い乗り物はない。主要な目的地ごとに「何番のバスに乗ってどこで降りるか」を示した一覧表を振英会館が用意してくれている。

★高雄について

宿泊先：摩天海湾商旅

場所：高雄市 地下鉄 (MRT) 「三多商圈」
駅前の高層ビル

値段：36,000 元 / 月 (≒ 115,000 円) + 光熱費
部屋：2 LDK



折り紙交流会

- ① 繁華街の地下鉄駅前ですぐ近くにそごう、三越、大百遠という3つのデパートがあり、高雄のランドマーク「85ビル」も徒歩7～8分で足場としては最高の立地である。
- ② 部屋は広く寝室が2つあるので大変快適だが、難点はキッチンが貧弱で本格的な料理は出来ないことである。ベッドは全てダブルベッドだが、2部屋あるので使い勝手は良い。
- ③ ここでも TARP メンバーがサポートしてくれるが、TARP という組織ではなく、Y さんという幼稚園の園長さんが個人的に献身的なお世話をしてくださる。* 幼稚園挙げての歓迎パーティ * バスを仕立てて一日観光 * 幅広い人脈を駆使して普通では行けない行事への参加 * 更には高級なご自分の別荘での食事会等々次から次へと「おもてなし」の連続。最初は費用も殆ど先方持ちであったが最近では無理やり実費を取ってもらっている。



幼稚園挙げての歓迎会

- ④ 幼稚園の Y 園長以外にも個人的にお世話してくださる方が多いのも高雄の特徴である。* 大学の日本語学科長の C さん（奥さんとも

ども日本語堪能)、別の大学助教授 Y さん(日本語堪能)、高雄在住の O さん(日本人で奥さんは台湾人)などが大学生、社会人大学の学生、卒業して社会で活躍している人達などとの交流をサポートしてくれる。

- ⑤ 食事場所は徒歩圏内に沢山あるので困ることはない。慣れると無料バスを使ってかなり遠くまで足を延ばすことが出来るので、選択肢は更に広がる。
- ⑥ 近郊の観光地にも在来線、地下鉄、バスを組み合わせると殆どどのところへ行ける。
- ⑦ 日本人ステイヤーの窓口は謝さんと Louis さん。謝さんは日本語が出来、LINE で連絡するとすぐ返事が返ってくる。また、Louis さんは英語しか通じないがメールへのレスポンスは大変早い。

終わりに

台湾は治安が良い、食べ物が日本人に合う、超親日的で親切で誠に居心地が良いステイ先です。しかしそれ以上に心惹かれるのは戦後日本人が失った「古き良き日本」が大変色濃く残っていることです。ここ数年国の方針で日本統治時代の建物の修復・保存が進められています。また、日本統治時代に台湾発展に貢献した多くの日本人が今でも尊敬を集めています。人口2,300万人の台湾人の訪日客数は280万人、人口12,000万人の日本人の訪台客数は160万人(2014年実績)という数字が示すように台湾の人は日本を实によく知っています。しかし日本人で真の台湾を知っている人はそんなに多くないのが実情です。バック旅行では判りません。今後1人でも多くの日本人がロングステイして台湾の方々と交流を重ね、真の台湾の姿を理解して下さることを切に願っています。

以上

※お断り 新竹・台中・高雄での交流風景をご紹介しましたが、これらは全て団体でロングステイしたときの話で、個人的に行く場合はこれと全く同じ交流が約束されているわけではありません。

支 部 便 り

東北支部便り

支部長 No.1027 佐藤 周司

4月17日東北支部の総会・情報交換会を開催致しました以下の通り報告致します。

○28年度第1回東北支部・総会・情報交換会報告

日 時 28年4月17日(日)
場 所 秋保グランドホテル
総 会 PM4:00～4:30
情報交換会 4:30～6:15

参加者6名

・総会役員改選及び会計報告

支 部 長 No.1027 佐藤 周司 (新任)
副支部長 No.1356 小松 実 (再任)
会 計 No.1666 舟田 照夫 (再任)

27年度収支報告有り

事 務 佐藤 周司 (兼務再任)
情報交換会 (情報概要) (氏名敬称略)

- ①参考資料5枚を使い、フィリピンダバオ、セブを詳細説明、年3回ぐらい1週間単位で出かける。

現地に知人、友人等、親しい人が多く、観光では無く、相談事などの対応が多い。

(No.467 渡邊 英勝)

- ②暑い7～9月は北海道。寒い冬場はチェンマイと住み分け、観光は卒業、現地にとけ込んだ生活スタイル、自分流を自然に語る。旅の達人、親しみやすく友人も寄って来る人柄だと思う。(No.1666 舟田 照夫)

- ③昨秋からの観光 九州。沖縄。中国の観光名所をムービーメーカー音量も入れ映像で紹介とA4サイズの写真用紙に10枚の写真を変えて、加工編集、文字も入れたものを紹介した。

(No.1027 佐藤 周司)

- ④お気に入りのフィジーの感想を熱く語り、趣味のダンスは何年やっても難しい！だが上達する事を念じて楽しく練習を継続実行中、いつも笑顔で全員に接して、お付き合いが楽しい人。(No.1356 小松 実)

- ⑤中国上海、広州からマレーシアと回遊 ペナン支部長には大変お世話になり20日間の旅行が出来た。

友人、知人との会話、会食、民宿等の思い出多い旅になった！(No.498 氏家 孝)

- ⑥ゴルフ愛好会に属し毎週のコンペ、練習場通い、パークゴルフ。グランドゴルフも週1回。

旅行も好きで、若々しく活動している、植木いじり、料理も上手な万能人間。

(ゲスト 伊藤 正人)

&懇親会。

バイキング夕食+飲み放題でPM9:00の閉店時刻まで打ち解け、語り合い、楽しい時を過ごし、まだ完全燃焼せず、カラオケに全員繰り出し、うまい、下手もなく、歌、歌、歌の連続熱唱。各自、自分をさらけ出し、親密度が増した。

PM10:30 終了 就寝

&観光。ゴルフ

18日ゴルフ3名参加し、舟田氏が圧倒的勝利でした。観光は17日(日)4名参加 ニッカウキスキー試飲と見学。秋保大滝。桜満開花見定義如来。大倉ダム散策を情報交換会時間ぎりぎりまで楽しんだ。

全会員様と良好な関係を結び前進したいと思っています。

今後ともご指導頂きます様お願いいたします。



桜満開花見定義如来

関東甲信越支部便り

支部長 No.1607 阿部 滋敏

この度、3月12日の理事会にて肥後前支部長の後任として、支部長の大役を拝命しました。入会してから僅か3年の私に、支部長が務まるのかと大変不安でしたが、理事会の皆様の全面的なバックアップを頂けるこのことで、お引き受け致しました。今後ともよろしくお願い致します。

○平成28年度事業計画案

①サロン会&懇親会

8月と2月を除き毎月第4日曜日

13:00～実施

5/29, 6/26, 7/24, 9/25, 10/23,

11/27, 12/25, 1/22, 3/26, 4/23

予定

②パソコン教室 毎月実施

③ロングステイフェア・11/26 積極的に支援

④「この指とまれ」 年2回実施

⑤南国テニス 毎月開催

⑥他支部との交流会 未定

○平成28年度支部役員

・重任(8名)

No.1607 阿部 滋敏 支部長

No. 923 永田 隼人 副支部長

No.1537 鈴木 元恵 会計

No.1717 丸山 俊江 会計

No.1032 瀧川 清人 No.1581 黒川 敏彦
No.1660 北村 裕志 No.1668 槇野 昭一
・新任(5名)

No.1225 高橋 眞治 副支部長

No. 670 今野 力男 No.1431 兼森 省治

No.1640 川野 俊次 No.1763 小西 隆司

○平成28年度サロン司会者

5月29日	槇野 昭一	11月27日	高橋 眞治
6月26日	川野 俊次	12月25日	瀧川 清人
7月24日	北村 裕志	1月22日	兼森 省治
9月25日	小西 隆司	3月26日	黒川 敏彦
10月23日	阿部 滋敏	4月23日	今野 力男

○支部総会



東海支部便り

支部長 No.1544 森 幸太郎

1. 2016年3月の定例会

2016年3月13日(日)に南国暮らしの会・東海支部の定例会が「ウィル愛知」で、終了後「太閤本店」で懇親会が開かれました。2016年度事業計画では、①定例会、②懇親サロン会、③平日いこみゃサロン会、

④海外下見ツアー、⑤同好会結成：ゴルフクラブ6回／年、脳トレマージャン、⑥ミニサロン会：浜松市、三重県にて実施など討議されました。お出かけ報告では、マレーシア個人旅行報告でKL→ペナン→ランカウイ→KL各1週間、ランカウイ～ペナンまでのフェリーでの遭難になりそうな体験、KL～ペナン間の恐ろしいバスの話、タクシーでの料金問題等の楽しい(?)話など。マレーシア下見ツアー報告ではKL、マラッカ、カニ島、ヒンドゥー教のお祭り、モスクの写真を交えて紹介。チェンマイ報告では、治安は特に問題ないが、物価が上昇傾向にある、中国人観光客が非常に増えた。ハワイ報告では、地獄谷(オアフ島での日系人収容所)など映像で紹介。



定例会



浜松サロン会

2. 4月の浜松サロン会

2016年4月3日(日)に、浜名湖に面した「ホテルグリーンプラザ浜名湖」で開かれ、20人の会員が集まって、食事をしながら和気あいあいと歓談しました。チェ

ンマイから戻ってきた人も多く、最新の南国情報を交換しました。

また、この夏の「北海道」でどのように過ごすか、世界一周クルージングはどのように過ごすか、この指とまれ方式の「下見ツアー」など、夢を語り合いました。

3. 2016年4月の定例会

2016年4月10日(日)「ウィル愛知」にて22人の会員が集まって開催されました。オブザーバーが出席し、「チェンマイで南の会を知った。興味があったので参加させてもらった。」との挨拶があり、その後入会されました。お出かけ報告で、北海道農業体験のお話を動画と本人のナレーションで詳しく解説。2015年5月から10月まで、旭川市西方約40kmの「秩父別町なつみの里」。住宅付き農園20区画。30坪(年間賃貸料23万円)と60坪(年間26万円)の農園あり。ジャガイモ、かぼちゃ、トウモロコシ、ナスなどをつくった。東海支部からも多数支部員が訪問。近くに秩父別場バラ園、深川体験グライダー、旭川動物園など観光名所があります。今年も予定しており、支部の皆さんもできれば訪問したいとの希望が沢山ありました。二組のご夫婦で行った、「アメリカドライブ旅行4,100kmの旅」の報告。映像とナレーションによる解説。ラスベガスからグランドキャニオンをはじめ、ナショナルパークを数か所ドライブ旅行。日本では見ることのできないスケールに圧倒されました。

4. 2016年5月の定例会

2016年5月8日(日)「ウィル愛知」にて23名が出席して開かれ、支部長から新入会員の紹介がありました。ウィル愛知フェスティバル 2016年11月26日(土)に参加申し込み決定。クイズ「ここはどこ？」でヨセミテ、モニュメントバレー、

エジプト ルクソール等。ピースボートの案内を CD で紹介。続いて航空便の紹介。セントレア→香港（キャセイ航空）→チェンマイ（ドラゴンエアー）は乗り継ぎ時間が節約できて便利。ただし、ドラゴンエアーは LCC のため、座席が狭い、空港を移動しなければならないなど不便さもある。

5. 5月の平日サロン会

2016年5月の平日サロン会は、支部員のご厚意で新緑まぶしい足助の別荘で、24名が集まって開かれました。別荘は森林と清流にかこまれ、せせらぎには、あゆが泳ぎ、夏にはホタルも飛びかう風光明媚な環境で、バーベキュー、キャンピングカー見学、芸術作品鑑賞、ピアノ演奏などあったという間に楽しい時間が過ぎました。たっぴりと森林浴をし、命の洗濯ができました。



楽しいバーベキュー



みんなで記念写真

6. 2016年6月の定例会

2016年6月12日（日）、ウィル愛知で17名が参加して開かれました。フィリピ

ン・ダバオとセブ島訪問の報告。ダバオは治安が大変良くなった。関西や北海道支部の会員の訪問が多い。セブは名古屋から直行便が出るようになり、行くのには便利になった。海がきれい。しかし治安に少し問題がある。5月12日第20回記念ゴルフコンペの写真報告。マレーシアセカンドホームロングステイビザ MM2H の個人申請経過報告（TKさん）。IWさんによるスリランカ訪問報告。世界遺産・物価安い・食事美味しい・シャワートイレ清潔。今年度のこの指とまれツアー候補地について。セブは行くのには便利だが治安に不安。海南島は現地モラルに問題ありそう。お勧めはベトナム。ダバオも。お出かけ情報（これから出かける方）では、YGさん：6月17日から3日間 台湾、KBさん：6月24日から10日間 ドイツ オーストリア スイス イタリア、YDさん：7月25日から1か月 チェンマイ、MSさん：7月26日から1か月 チェンマイ、TSさん：6月30日から7月8日 クアラルンプール、DIさん：7月2日から2週間ほど クアラルンプールその他、KJさん：9月2日～10月8日 ニューヨーク、キューバ、カナダ。お出かけ中の方は、SBさん：4月から7月 世界一周ピースボート、KYさん：5月末から1か月 ハワイオアフ島、ハワイ島、SY：マレーシア長期滞、SIさん：5月22日～2017年3月中旬 チェンマイ、NDさん：5月30日～2017年3月初旬 チェンマイ、KSさん：5月31日～6月16日（KL）～7月15日（チェンマイ）、ANさん：6月14日～8月14日 北海道、MDさん：北海道農業体験中（5月から10月ごろまで秩父別）

7. 6月の平日サロン会

2016年6月の平日サロン会は、「メル

「メルパーク名古屋」で18名が参加して開かれました。メルパークは駐車場が2時間無料、シニア割引、誕生月割引などメリットがあります。会議室を使い、落ち着いた雰囲気です。わいわいがやがやと楽しいおしゃべりで、あっという間に時間が過ぎました。

関西支部便り

支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主な活動をご紹介します。

☆4月花見会

平成28年3月31日(木) 午前11時30分～15時30分 桜宮公園 大川端

丸山さんが呼びかけていただき17名参加しました。

当日は薄曇りの中、暖かな日差しを浴びながら、花見を楽しみました。

五分咲きでは有りましたが、満開に近い桜もあり花見気分を堪能できました。

また、その余勢を借り2次会は天満の「一軒目酒場」繰り出し、大いに盛り上がった一日でした。



お花見会



4月例会集合写真

☆4月例会報告

日時：4月23日(土) 13:30～17:00

場所：大阪市立生涯教育センター

参加者：35名

①例会

- ・「私の失敗談」～稲富 惇浩さん
- ・「定年後の過ごし方」～谷澤 誠一さん
- ・「夏の北海道 涼しいところでゴルフ三昧 グルメ三昧!!」～丸山 百合子さん
- ・「お薦め! 陸マイラーとは。年会費2,700円のゴールドカードについて」～長田 隆秀さん

②懇親会

19時過ぎまでワイワイ、ガヤガヤいっものながら、一番盛り上がった一時でした。

料理も美味しかったです。

今回は中華料理「遥華」で初開催

☆お昼のサロン会

日時：5月7日(土) 11:50～16:00

場所：大阪天満「一軒め酒場」

参加者：13名

- ・5月の連休中だったにもかかわらず13名の参加を頂きました。チェンマイの鈴木さん、参加有難うございました。



お昼のサロン会

☆関西支部 ゴルフ同好会

日時：平成28年5月20日

場所：花屋敷ゴルフ倶楽部

参加者：11名

昨秋計画していた一泊二日2ラウンドの

コンペが参加者不足で不成立となったため、1年ぶりのゴルフコンペとなりました。

今回は5月20日超快晴のもと、LPGA主催『スタジオアリス女子オープン』でおなじみの花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコースで老々男女が11名参加のうえ執り行われました。

次回は、今秋に四国・徳島での一泊二日2ラウンドを、計画しておりますので、ゴルフ愛好家の皆様のご参加をお待ちしております。



☆ロングスティフェア参加報告

日 時：5月28日(土)・29日(日)
10:00~17:00

場 所：大和ハウス工業株式会社
大阪ビル2F

参加者：2000名(主催者見込み)

・ロングスティフェアに参加して参りました。

28、29日両日延べ21名で受付、勧誘、ビラ配りと役員はじめお手伝いを頂いた有志の方々大変お疲れ様でした。



☆パソコン教室開催報告

日 時：6月2日(木) 13:30~17:00

場 所：大阪市立生涯学習センター

参加者：13名

・今回は格安スマホ、格安SIMの導入例をお話いただきました。



☆平成28年度総会・例会の開催報告

日 時：6月12日(日) 13:30~17:00

場 所：大阪駅前第二ビル6F

「大阪市立生涯学習センター」

参加者：62名(うちゲスト参加24名)

懇親会参加49名(うちゲスト参加14名)

内 容：

・総会に先立ち、平山支部長より支部長会議の報告年3回の会報の新たな業者選定により大幅なコスト削減ができたとの事でした。

また大阪での5月28日(土)、29日(日)におけるロングスティフェアに出展し、本日24名のゲスト参加をいただいたことの報告がありました。

①総会 全議案とも全員賛成の拍手で承認されました。

②例会

・「台湾滞在記」……No.1699 谷口 孝行 様

・「石垣島滞在記」……No.816 有元 義晶 様

・「健康についてII」……No.632 河南 裕子 様

・「nagoku-west 2 について」

……………No.501 大川 泰永 様

・「情報交換会」

・懇親会「遥華」



6月例会集合写真

コメント

この度の関西支部便りの特筆すべき事は、ロングステイフェア出展です。関西で初めてにも関わらず、延べ1,300名の来場者の内70数名の方々からアンケート回答をいただき、その後、役員がフォローした結果6月12日のサロン会には24名のゲスト参加がありました。また会員部会へは申し込み及び資料請求が多数あるとお聞きしております。これもひとえに支部会員、延べ21名の尽力によります。

九州支部便り

支部長 No.651 穴見 保彦

九州支部の活動を紹介します。

○平成28年4月4日(月)、熊本市市民活動支援センター「あいぽーと」において熊本サロン会を開催しました。今回も皆さんからの希望で翌日にゴルフを実施。天候に恵まれ、さわやかな春風を一身に浴びて、楽しく仲良くを実感した二日間でした。

●情報交換会 13:30～16:30



・体験発表①

…… この指とまれ「ベトナム旅行」報告
発表者：

No.651穴見さん、No.652深松さん、
No.1570坂田さん、No.581朝永さん

平成28年1月17日から24日までの
8日間ホーチミン、ダナン、ホイアン、
フエ方面を、10名参加で観光してきま
した。

ホーチミンに6泊、その間にダナンへ
飛び、ホイアンに一泊、翌日車をチャー
ターしてホイアンから片道3時間かかる
フエまで行きました。ホイアン、フエの
世界遺産は素晴らしいものがありました。

又ホーチミンからメコン川クルーズ、
カンヨービーチへの日帰りエクスカ
ーションに出かけましたが、どちらも昼食
付き、一人1,000円以内で丸一日楽し
めました。

・体験発表② …… 最近のチェンマイ事情

発表者：No.1476 野田 文蔵さん

例年、花粉症対策として、2月から3
月にかけて訪チェされています。最新の
ゴルフ事情、滞在中の過ごし方などにつ
いてお話いただきました。

・翌日のゴルフ

今回初めて利用の「チェリーゴルフ宇
土コース」で格安ゴルフを楽しみました。
お天気に恵まれ、高原の風がとてもさわ
やかでした。



○平成 28 年度支部総会&情報交換会

平成 28 年 6 月 5 日 13:00～16:30

福岡市 NPO ボランティアセンター「あすみん」で参加者 20 名で開催しました。

田中栄一議長の下、議案は満場一致で承認されました。

新役員として支部長に No.651 穴見保彦さん、新規入会促進担当に No.1090 岡本吉晴さんが決まりました。

●情報交換会 14:30～16:40

・体験発表①…………… アメリカ往復横断旅行
発表者：No.1651 田中 栄一さん

・体験発表②…………… 熊本・大分地震報告
発表者：No.581 朝永 清寿さん

●懇親会 「手仕事屋ちゃぶだい」

昨年につき、飲み食べ放題で 1,980 円と超格安。5 時からと早い時間のスタートだったので貸し切り状態。みんな満足して大いに盛り上がりました。



ハワイ支部便り

支部長 No.1439 塩川 亨

6 月に約 20 名の南国暮らしの会のメンバーがオアフ島のワイキキの近くのコンドミニウム（主にバニアン、アイランドコロニー）に集まり、定例ゴルフを火、木の計 9 回プレーを計画し、イベントであります南の会オープンゴルフを 6 月 9 日に開催し支部支援金を賞金に出し参加者 17 名は大いに盛り上がりました。ゴルフ終了後のサロン会では奥様方

も参加して楽しい夕べを過ごすことが出来ました。



サロン会

6 月 5 日にウエルカムパーティーを開催し 6 月いっぱいハワイをいかに楽しむかの計画の発表と沖縄料理をたんのうしました。

ダイヤモンドヘッド登頂は毎年行っており私は自分の体力検査を兼ね登っているが年々体力はおちています。

海は毎年変わらず魚は多いし綺麗だし暇さえあれば泳いでいます。

テニスコートは其処らじゅうにあり無料で出来、いつ行っても出来、現地の人との交流も出来るので非常に楽しい今回私は 6 回テニスを行なった。

朝市もあり特に有名なのがダイヤモンドヘッド登山口にある公園で土曜日に開催される kcc 朝市が楽しい南の会のメンバーを誘いあって、そこで朝食を食べお土産を買ったりコナコーヒ、マンゴージュースなどを飲み楽しい半日を過ごします。

夕食は基本的には自炊だが週 1 回くらいは外に食べに行くその時は食事、飲み物が約半額になるハピイアワー（16～18 時）に早夕飯をして帰って来てラナイでの一杯がなによりである。

6 月 27 日はサヨナラパーティーを開催した、バニアンの人が中心に開いてくれた、50 名位集まり肉中心の料理でウクレレありフラダンスありの楽しい送別の会になった。

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

チェンマイの雨季のシーズンは、コンドミニウムやサービスアパートメントも空室が多く、ロングステイの宿泊先を捜されたり、混み合うゴルフをすることもなく、ゆったりと生活を楽しめます。反面、会員の方の数も少ないので、他の方と知り合い情報交換や、ゴルフに同行をお願いしたりと、積極性は必要です。

5月から10月までの時期は、突然の雨は困るが、空気の綺麗さ、滞在者数の少なさ、気温高め過ごしやすさ、実感される会員の方の声を多く聞きます。

現在の物価推移は、クイッティアオと言う麺が一杯30バーツ(約100円)から40バーツ(132円)に値上がりした事例がわかりやすい様に、値上がり傾向にあります。夕食で200バーツ(660円)を上限にされている方も多く、生活の様式によって、まだまだ生活しやすい、同じ金額なら豪華に生活出来ると感じている方が多い様に思います。

チェンマイでの大きな変化、課題は、初期の会員の方の高齢化による帰国と、日本の生活環境の変化に起因しているのか、次の世代の減少傾向が南の会だけでなく、チェンマイ全体のロングステイヤーの減少に繋がっているような気がします。

タイ、チェンマイ日本領事館からの情報の中で、昨年までは、亡くなる方の数が、年間で平均的に25名ぐらいでここ数年推移していたが、2016年は5月の段階で、25名を超えていて、今年の問題もあるにしても、高齢化が確実に進んでいる証明と報告がありました。

介護の施設や介護してくれる方、病気の看病に関しての研究や施設、人材の話は良くされますが、日本の福祉、社会保障に比べると、タイでの医療費が全額自己負担の前提条件を含め、タイ人とご結婚されている場合を除き、

病気、老化に気づいたら、帰国が有利、賢明と言う結論が導き出されます。

あえて書かせていただいたのは、ロングステイは単なる旅行ではないので、チェンマイでの人生最後のご褒美の時間を悔いなく過ごされる、また、周りに迷惑をかけないという点からも、対策、身の振り方を再確認しておく事が最重要課題となっている現実が、今年になってより鮮明になってきました。

チェンマイ支部としては、初めてチェンマイを訪れる会員の方のフォローは心がけますが、6月現在の滞在者44名、ハイシーズンには100名を超える会員の方がチェンマイに溢れ、フォローの手は回りきれません。是非とも、ご自身で、前もって日本の支部での情報の収集と人脈作りをしてからチェンマイに来られますよう、再度この場をお借りしてお願い致します。

今期から、ゴルフの車の手配と、キャディーの手配は、各自でお願いする旨はお伝えしてありますが、初めての方はゴルフ担当の森田さんまで直接ご連絡ください。年2回のコンペは予定通り実施されます。全体のサロン会は、8月、12月、1月の年3回です。

役員、窓口のリストは掲示板に掲載されていますので、メール、電話ご確認頂くと共に、短期滞在の傾向が顕著ですので、日本の各支部のサロン会で複数名の窓口担当、お世話役を選出して頂けると助かります。

ペナン支部便り

支部長 No.1630 菅野 純

5月7日の支部総会で、新支部長として二年間、会員各位のまとめ役を担う事になりました。単期間の経験での大役ですので、今後とも皆様の、お力添えを宜しくお願い致します。

5月14日に、第一回役員会を開催し、1年間の活動計画を、概ね下記の通り決める事と致しました。

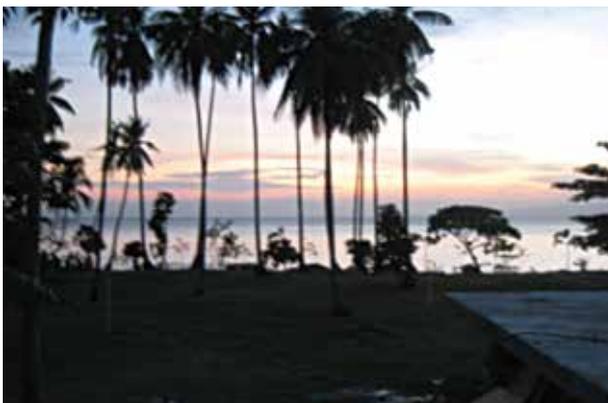
1. 役員会 7月、9月、11月、1月、
3月の離月開催
2. サロン会 7月、12月
3. B.B.Q.会 8月予定
4. ゴルフ会 1月予定
5. 訪問会員対応 都度対応
6. マレーシア ペナン支部 役員
 - 支 部 長 菅野 純 (No.1630)
 - 副支部長 木村 まゆみ (No.1012)
 - 会 計 渡邊 晶子 (No.1546)
 - 記 録 野一色 博子 (No.37)
 - サロン会担当 川崎 千恵 (No.524)
 - サロン会担当 木村 まゆみ (No.1012)

尚、私自身 LS 生活の経験不足の為、5名の新役員の他、前渡邊支部長他計2名の方に相談役として、色々アドバイスを願う事と致しました。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

真っ赤に輝く朝焼けのダバオも好きですがスコールの後、ヤシの木をゆらすそよ風の中徐々に日の沈む夕暮れのダバオも好きです。



昔と変わらぬダバオの夕暮れ

何度も書いていますが ここダバオは戦前、満州に次いで多くの日本人が住んでいました。ルソン島での世界各国の人々が挑戦し成し遂げなかったパンゲット道路を完成させ工事終了にともない職を求めてダバオに最初数名の日本人が訪れ、これまた各国の人々は

成し遂げなかったアバカ麻の栽培に挑戦成功させました。熱帯病と戦いながら木を倒し根を掘り起こしジャングルをまさに“血と汗”で農地へと開拓していきました。家を建て道路を作り水力発電所（現在この発電所は現役で発電しております。）、学校、病院、お墓と



水力発電所内部建物は木造からコンクリートに変更されていますが消耗部品以外は110年前から現在も当時のまま稼働しています。



日本人設置当時の水力発電タービン70年たち水流で薄くなり変更されました。現在オブジェとして設置。

人々が暮らせる街を作っていました。今でもその街は民が多く留まるミンタル(民多留)と呼ばれています。アバカ麻は水に強いロープの材料として世界各国好況で造船競争のさなか、係留のためのロープとして大いに重宝がられ最大2万人とも3万人とも言われる日本人が生活していました。小学校も11校も作られ運動会シーズンにはパン食い競争や綱引きなど日本で当たり前に見られる光景が南国のダバオで見られました。



日本人小学校跡（現ミンタルエレメンタリースクール）

現在のダウンタウンも最初 数件の寒村でしたが日本人が整備してゆき太田時計店

の横は田中豊店と甘味店、大阪バザールと言った2階建てのショッピングセンター、東本願寺を含めお寺やまるで日本の街を切り取った風景になっていきました。人々は当時流行りのカンカン帽子をかぶり麻のスーツを着て街を颯爽と歩いていました。夕方には今と同じ南国独特の穏やかな夕暮れを見つめその日疲れを外のれんだいに座りビールを飲み癒していたのでしょうか？ これらの風景はダバオ郊外カリナン地区のジャパニーズミュージアムに貴重な写真とともに展示されております。このような平穏な日々は長く続かず日本軍の上陸、アメリカ軍の攻撃、日本の降伏とジャングルを逃げ惑い多数の犠牲者を出す事になります。このあたりの状況は丸山忠次著書“ダバオに消えた父”に詳しく書かれております。もし興味のあるかたはお読みいただけたらいかがでしょうか？ 戦争で犠牲になられたそれらの方々をしのび毎年8月15日前後に前記日本人によって作られたミンタル墓地にて盛大に慰霊祭が行われます。当初は敗戦国民として人目を憚りながらキリスト教形式で日本人の血を継ぐ日系人の方々が毎年続けておられました。ようやく日本領事館との共同になったのは約10年前からです。同じ血のつながった先人の苦労や勇気に思いをおこし年1回慰霊祭に参加し手を合わせています。



盛大に行われる慰霊祭



ドテルテ大統領
(当時市長)
寄進日本人墓

この墓地にはロドリゴ ドテルテ大統領(当時ダバオ市長)のポケットマネーで寄進された日本人の墓もあります。

日本人が去ったあとアバカ麻の農場は日本式の行き届いた栽培が継続できず衰退していきます。それらの整備された良好な農地はパイナップルやバナナ農場としてフィリピンの主力産業の1つとしてフィリピン経済を支えることになります。

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 斎木 一

最近のフィリピンの近代化のスピードは目覚しく、私の周辺の状況もめまぐるしく変化しています。ルソン島北部も最近の変化には驚くばかりです。素晴らしい雲上の天国バギオも今や高原の大都市です。保養地バギオも生活都市として発展しています。南シナ海沿岸に広がる大平原パンガシナンもかつての静かな農漁村が、道路網の整備で都市化が進んでいます。楽しくゆっくりと南国の生活というイメージとはかけ離れてきてしまいました。私の住むウルダネタもマニラとの高速道路が直結して日帰り圏内になりました。

年中暖かく住みやすい環境は今までどおりですが、昔の日本の田舎に似た景観は最早過去のものになってしまいました。物価は人件費を中心にまだ日本に比べれば安く、生活は年金生活でゆとりを持って暮らせませす。

私の悩みは、南国暮らしのよさをどう説明すればいいかです。私は満足していますが、新しく暮らそう、滞在しようと考えている方々への説明、難しいですね。

結論は、住んで見ないとわからない、です。日本から来られる方々にはそう説明しています。1年中暖かく、落ち着いた生活が出来る、それがバギオ・パンガシナンでしょう。

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

5/29 総会も終わり、平成 28 年度が本格的にスタートしました。今期は、経理が部会独立して支部推進が総務部会に加わり、新任理事を加えて 9 名体制で対応します。どうぞよろしくお願いいたします。

【総務部会メンバー】

No.996 歌田晃一（部会長）、
No.1607 阿部滋敏（副部会長）、
No.670 今野力男（副部会長・支部推進）、
No.173 平山三雄、No.1225 高橋眞治、
No.1309 青木一義、No.1431 兼森省治、
No.1581 黒川敏彦、No.1640 川野俊次

【主な活動計画】

- ・ 第 1 回理事会 6/19 終了し 19 期がスタート
- ・ 都庁への事業報告、役員変更等届出提出 6/21
- ・ 法務局への変更登記申請 6/21
- ・ 平成 28 年度事業計画中期検討（10 月）
- ・ 委任状の電磁化検討と実施
- ・ 平成 29 年度体制案・予算案
依頼：12 月 ⇒ 検討：3 月 ⇒ 承認：4 月
- ・ 理事会開催（6 回）
1 回：6/19 2 回：10/15 3 回：12/10
4 回：3/18 5 回：4/8 6 回：5/13
- ・ 役員・支部長会議開催（5/27 予定）
- ・ 総会開催（5/28 予定）

経 理 部 会

担当理事 No.1032 瀧川 清人

この度、経理担当の理事に就任しました

瀧川清人（たきがわきよひと）です。

仕事柄、数字を扱うのには慣れていますが、実際にお金を扱うのはやや不慣れなものですから、ご容赦ください。

まだ仕事をしているので、ゆっくりと滞在したことはなく、ただの「旅行者」ですが、ソウル・バンコク・台北・ダバオには、何度も行っています。よろしくお願いいたします。

広 報 部 会

担当理事 No.1207 宮原 正宇

今年の広報部会には新たに、会員番号 1575 の吉田博氏が即戦力として加入され、実戦部隊の機動力に更なる厚みを増しております。

6 月新年度スタートにあたり、例年恒例の関係観光庁、財団等への表敬訪問を早速開始しました。

吉田氏を含む 4 名に大野理事長を加えて、6 月 24 日にフィリピン観光省とタイ国政府観光庁、同月 28 日にはマレーシア政府観光局と一般財団法人「ロングステイ財団」をそれぞれ訪問し、各省庁のトップや窓口担当者と懇談し、新メンバーの吉田博氏の紹介に始まり、相互の各種情報交換の更なる充実、振興を促進すべく話し合いが持たれました。

また同月 26 日には、ロングステイ財団主催の「ロングステイヤーの集い」セミナーが、飯田橋の大和ハウス工業本社で開催され、昨年続き「南の会」も招請を受けて今年も広報部会 3 名で、ブース出展参加しました。

財団の常岡事業部長による「ロングステイの最近の傾向概要」講演に始まり、外務省診療所長の仲本光一氏の「海外健康リスクと医療事情」に関する講演を謹聴し、次にテーマ別の四班の小グループ（A 医療、B 保険・お金、C 住居、D 国内ロングステイ）に当日来場の一般客 100

名程を分散参加させ、ディスカッション形式の交流を実施。

「南の会」は医療を担当して質疑応答し、熱心な交流が持たれました。

最後に参加企業、団体ごとに個別相談会があり、「南の会」も勧誘チラシや、入会案内冊子、会報誌(旧残部)等を配布して、熱心に呼び込み勧誘した結果、4名の新入会員獲得の成果を得ました。

広報部会はこれからも機会あるごとに新入会員獲得を目指し、具体的勧誘活動をすすめてまいります。

また昨年10月に理事会の承認を得て、広報部会の下部組織として発足した「アフターロングステイ委員会」もこれまで不定期であった例会を隔月に実施することを決め、

活動ごとの結果内容をBBS掲示板に掲載する予定であり、今後の取組課題についても

「老後の健康管理」を含む各種「終活問題」の中から研究テーマを絞り込み、順次取組開始していく予定です。

なお、別途委員会例会において推薦のあった三役につき、6月の新年度第一回理事会において、委員長に会員No.163の宮壽哲郎氏、副委員長にNo.712の高田勝弘氏と、

会員No.302の末英樹氏の3名が正式承認されました。

広報部会は「アフターロングステイ委員会」の親部会として、今後とも外郭より委員会活動を積極支援してまいります。

会 員 部 会

担当理事 No.1388 寺田 光江

平成28年度の会員部会の構成メンバーですが、一番大きな力で会員部会になくっては成らないNo.923永田隼人さんを筆頭にNo.1208澁谷幸一さんNo.1668槇野昭一さんNo.1388寺田光江のメンバーに、新しくNo.1225高橋真治さんが会員部会に、委員会にはNo.1735木村昭彦さんが更に加わっていただき6人体制でやらせていただきます。

会員部会のお仕事を少しだけご紹介します。

- 1) 新入会者に会員名簿などを送り会員になったことのお知らせする。
ネット委員会へ連絡 随時
- 2) 入会資料請求者へお知らせを送る。
(年間100通程度) 随時
- 3) 会報を送る時の宛名作成作業。
会報部会と連絡を結び会報を発送するお手伝い。年3回
- 4) 会員名簿の作成。年1回

等、地道な仕事ではありますが会員の皆様方が入会される時にまず、初めに会員の皆様方と交流を結ぶ担い手と思っております。

会員名簿は9月会報発送と同時に送らせていただく予定です。

会員部会・委員一同

友好団体紹介コーナー

★一般財団法人ロングステイ財団
<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会(CLKクラブ)
<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ(WSC)
<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL
(クアラルンプール)日本人会
<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会(JANL)
<http://janl.exblog.jp>

南国暮らしの会 支部一覧

2016年9月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	1027	佐藤 周司	shujisato1947@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1607	阿部 滋敏	abe-shigetoshi@d05.itscom.net
東海支部	1544	森 幸太郎	moro-12-13-18@herb.ocn.ne.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	651	穴見 保彦	yasu325anami651@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_ito_9@hotmail.com
バンコク支部	—		
ペナン支部	1630	菅野 純	Jk700115@icloud.com
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.nkym@gmail.com
セブ支部	1410	加藤 正也	m@kato.sh
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1439	塩川 享	t.007.shiokawa@jcom.home.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

編集後記

南の会の総会も5月に無事終了し、会報部会も6月から新年度の活動を開始しております。

会報部会のメンバーは、山田美弥子氏が退任され、黒川敏彦氏が総務部会（支部推進）に移られ、新たに吉田博氏と川野俊次氏をお迎えし、従来通り6人体制で青木部会長のもと、気分一新して編集作業に取り組み、この度本誌「夏秋号（67号）」の発刊にこぎ着けました。

また昨年来、理事会において会報誌発行経費の節減と費用対効果が検討された結果、これまでの印刷業者との契約を解約し、前66号からより契約条件の良い印刷業者に変更いたしております。

お陰様で大幅な「経費と労力」の削減結果

に繋げることが出来ました。業者変更に伴い、会報誌自体の質的低下を来す様なことがあってはならないため、新しい業者との打合せに際しては、部会長を中心に特に神経を使い、従来にもまして綿密な下打合せがなされた結果、文字サイズも大きく読みやすくなり、表装等の見栄えも一段とレベルアップ出来たと自負致しております。

今後は会報の体裁はもとより、記事内容の一層のレベルアップを目指し、部会委員一同更に精進して参りますので、会員の皆様におかれましては、益々のご支援、ご指導を賜ります様、特にお願い申し上げます。

編集委員 No.1309 青木 一義
No.1207 宮原 正宇

「南国暮らしの会」から自己責任の徹底！

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらに基づいた集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係（住所変更など） kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係（会費、名刺ロゴマークなど） keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには要件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1208	澁谷 幸一
No.1207	宮原 正宇	No.1575	吉田 博
No.1578	山本 雅巳	No.1640	川野 俊次

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com

「南国暮らしの会」から自己責任の徹底！

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係（住所変更など） kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係（会費、名刺ロゴマークなど） keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには要件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1208	澁谷 幸一
No.1207	宮原 正宇	No.1575	吉田 博
No.1578	山本 雅巳	No.1640	川野 俊次

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



新・旧役員・支部長



総会



ハワイ支部ゴルフ会



関東甲信越支部サロン会



東北支部サロン会